

第9期北海道総合開発計画 モニタリング指標

国土交通省 北海道局
令和8年6月

- モニタリング指標一覧①～⑦ … P2～8
- 各指標の動き(グラフ) … P9～35

モニタリング指標一覧①

目標	施策	モニタリング項目	変化	単位	数値	頁	
目標1 我が国の豊かな暮らしを支える北海道 食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道	1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展	1:国産供給熱量に占める北海道の割合	↘	%	24(R1)→23(R4)→23(R5概算値)	9	
		2:農業産出額	↗	億円	12,560(R1)→13,480(R5)→14,820(R6)	9	
		3:食料品製造業の付加価値率	↘	%	28(R1)→27(R4)→27(R5)	9	
		4:「食料品及び動物」輸出額	↗	億円	681(R1)→737(R6)→916(R7速報値)	9	
		5:林業産出額	↘	億円	467(R1)→434(R5)→408(R6)	10	
		6:道産木材の供給量	↘	万m ³	446(R1)→430(R5)→430(R6)	10	
		7:海面漁業・養殖業生産量	↘	千t	95万8(R1)→89万8(R6)→81万8(R7第1報値)	10	
		8:海面漁業・養殖業産出額	↗	億円	2,307(R1)→2,836(R5)→2,793(R6)	10	
		9:化学農薬・化学肥料出荷量	化学農薬出荷量	→	t	16,039(R1)→16,098(R4)→16,105(R5)	11
			化学肥料出荷量	↘	千t	243(R1)→208(R5)→202(R6)	11
	10:6次産業の1事業体当たりの年間販売金額	農業生産関連	↗	万円	5,023(R1)→6,069(R4)→6,122(R5)	11	
		漁業生産関連	↗	万円	1億6,712(R1)→1億6,544(R4)→2億191(R5)	11	
	目標2 クラスの観光立国を先導する世界トップ	11:月別延べ宿泊者数(日本人・外国人)	日本人:ピーク値8月	↗	万人泊	327(R1)→410(R6)→389(R7速報値)	12
			外国人:ピーク値12-2月	↗	万人泊	124(R1)→153(R6)→199(R7速報値)	12
		12:月別の客室稼働率(ピーク/オフピーク率)	↗			1.42(R1)→1.66(R6)→1.54(R7速報値)	12
		13:①外国人来道者数、②訪日外国人旅行者数の北海道シェア	↗	万人		301(R1)→256(R6)→314(R7)(外国人来道者数)	13
14:来道旅行者の観光消費額(道内客・道外客・外国人客)		→	億円		15,159(R1)→15,033(R6)→14,892(R7暫定推計値)(道内+道外+外国人)	13	
15:来道旅行者の1人当たりの消費額(道内客・道外客・外国人客)		↗	円		138,778(R1)→171,954(R6)→159,925(R7暫定推計値)(外国人)	13	
16:圏域別観光入込客数・国内宿泊客延数(入込総数・日本人客・外国人客)		↗	万人		6,495(R1)→6,375(R5)→6,697(R6)(地方部観光入込客数)	14	
		↗	万人泊		1,464(R1)→1,419(R5)→1,548(R6)(地方部国内宿泊客延数)	14	
		↗	万人泊		206(R1)→191(R5)→253(R6)(地方部訪日外国人宿泊客延数)	15	

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

モニタリング指標一覧②

目標	施策	モニタリング項目		変化	単位	数値	頁	
目標 I 我が国の豊かな暮らしを支える北海道 食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道	2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり	17:平均泊数(全宿泊者・外国人客)	道央	↗	人泊	1.47(R1)→1.68(R5)→1.74(R6)(全宿泊者)	15	
			道南	↗	人泊	1.22(R1)→1.26(R5)→1.29(R6)(全宿泊者)	15	
			道北	↗	人泊	1.32(R1)→1.36(R5)→1.38(R6)(全宿泊者)	15	
			オホーツク	↗	人泊	1.11(R1)→1.16(R5)→1.17(R6)(全宿泊者)	15	
			十勝	→	人泊	1.22(R1)→1.28(R5)→1.22(R6)(全宿泊者)	15	
			釧路・根室	↗	人泊	1.14(R1)→1.19(R5)→1.18(R6)(全宿泊者)	15	
		18:道内観光の満足度(道内客・道外客・外国人客)	→	%	83.8(R1)→82.5(R6)→93.0(R7)(道外客・外国人客かつ新千歳・函館・旭川・帯広・釧路・女満別の空港別満足度の加重平均)		16	
	19:北海道への再訪意向(道外客、外国人客)	→	%	95.0(R1)→95.5(R6)→92.8(R7)(道外客・外国人客かつ新千歳・函館・旭川・帯広・釧路・女満別の空港別再訪意向の加重平均)		16		
	20:道内のDMO登録件数 (持続可能な観光地域づくりに取り組む地域)	↗	件	12(R1)→26(R7)→25(R8)		16		
	21:国際認証・表彰の地域数 (グリーン・デスティネーションズ(GD)による表彰及びベスト・ツーリズム・ビレッジ(BTV)による認定がなされた地域)	↘	件	1(R2)→2(R5)→0(R6)(GDによる表彰)		16		
		→	件	0(R2)→1(R5)→0(R6)(BTVによる認定)		16		
	3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現	22:北海道の温室効果ガス排出量	北海道全体	↘	万t-CO ₂	6,369 (R1)→5,797(R4速報値)→5,774 (R5推計値)		17
			住民一人当たり	↘	t-CO ₂	12.1 (R1)→11.3(R4速報値)→11.3 (R5推計値)		17
		23:①森林蓄積、②森林の炭素貯蔵量	森林蓄積 (針葉樹+広葉樹)	↗	億m ³	8.1(R1)→8.8(R6)→8.8(R7)		17
			炭素貯蔵量	↗	億t-CO ₂	3.3(R1)→3.4(R2)		17
24:新エネルギーの発電電力量・熱利用量		電力	↗	TJ	31,630(R1)→42,865(R4)→45,353(R5)		17	
		熱利用量	↗	TJ	14,578(R1)→15,426(R4)→16,245(R5)		17	
25:地域マイクログリッド構築に取り組む市町村数	↗	市町村	4(R1)→5(R4)→5(R6)		17			

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

モニタリング指標一覧③

目標	施策	モニタリング項目	変化	単位	数値	頁	
目標Ⅰ 我が国の豊かな暮らしを支える北海道 食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道	<small>3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現</small>	26:洋上風力の発電電力量	↗	百万kwh	1(R1)→3(R4)→164(R5)	18	
	<small>4. 地域の強みを活かした成長産業の形成</small>	27:道内総生産、1人あたり道内総生産	北海道全体	→	百億円	2,080(R1)→2,065(R4)→2,150(R5)	19
			1人あたり	→	万円/人	392(R1)→398(R4)→418(R5)	19
		28:有効求人倍率	↘	倍	1.22(R1)→0.99(R6)→0.95(R7)	19	
		29:製造品出荷額	↗	百億円	605(R1)→664(R4)→677(R5)	19	
		30:苫小牧東部地域における製造品出荷額 (苫小牧市・厚真町・安平町)	↗	百億円	136(R1)→147(R4)→146(R5)	19	
		31:半導体関連産業の出荷額	↗	億円	740(R1)→1,132(R4)→1,210(R5)	20	
	32:北海道内のデータセンター立地数	↗	箇所	38(R1)→43(R6)→45(R7)	20		
	<small>5. 自然共生社会・循環型社会の形成</small>	33:自然公園利用者数	↘	万人	3,446(R1)→2,798(R5)→2,851(R6)	21	
		34:産業廃棄物	排出量	↘	万t	4,665(R1)→4,045(R3)→3,913(R4)	21
			再生利用率	↗	%	53.7(R1)→61.3(R3)→61.2(R4)	21
			最終処分量	↘	万t	92(R1)→87(R3)→85(R4)	21
		35:自然共生サイト登録数、登録面積	登録数	↗	箇所	10(R5)→16(R6)→33(R7)	21
	登録面積		↗	ha	27,100(R5)→28,400(R6)→30,700(R7)	21	
	<small>6. 北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興</small>	36:北方領土隣接地域の一人あたり主要生産額	↗	万円/人	400(R1)→450(R4)→468(R5)	22	
		37:国境周辺地域への観光入込客数	↘	万人	211(R1)→186(R5)→199(R6)	22	
		38:国境周辺地域の漁業生産量	↘	万t	22(R1)→17(R5)→16(R6)	22	
		39:国境周辺地域の再生可能エネルギーの導入実績	↗	件	217(R1)→408(R6)→429(R7)	22	

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

モニタリング指標一覧④

目標	施策	モニタリング項目	変化	単位	数値	頁
目標Ⅰ 我が国の豊かな暮らしを支える北海道、観光立国、ゼロカーボン北海道	7. アイヌ文化の振興等	40:アイヌの人々やアイヌ文化に接したことがある割合	↗	%	24.7(H27)→21.0(R4)→28.4(R6)	23
		41:民族共生象徴空間(ウポポイ)への年間来場者数	↗	万人	22.3(R2)→31.6(R6)→28.9(R7)	23

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

モニタリング指標一覧⑤

目標	施策	モニタリング項目	変化	単位	数値	頁	
目標 II 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 の維持・発展と強靱な国土づくり	2. デジタルの活用による生産空間の維持・発展 多様な豊かな地域社会の形成	42:北海道の人口 (日本人+外国人:総数、年齢3区分)	道内	↘	万人	525.9(R1)→504.3(R6)→498.5(R7速報値)	24
			15歳未満	↘	万人	56.8(R1)→51.4(R5)→49.7(R6)	24
			15~64歳	↘	万人	302.5(R1)→289.7(R5)→286.8(R6)	24
			65歳以上	→	万人	166.7(R1)→168.1(R5)→167.7(R6)	24
		43:在留外国人数	道内	↗	人	42,485(R1)→67,484(R6)→69,620(R7)	24
		44:人口増減数 (日本人、日本人+外国人:自然増減・社会増減)	日本人、自然増減	↘	人	▲34,379(R1)→▲50,601(R5)→▲53,663(R6)	24
			日本人、社会増減	↗	人	▲7,907(R1)→▲6,002(R5)→▲6,233(R6)	24
			日本人+外国人、自然増減	↘	人	▲34,320(R1)→▲50,538(R5)→▲53,556(R6)	24
			日本人+外国人、社会増減	↗	人	▲2,331人(R1)→4,608(R5)→4,398(R6)	24
		45:転入数・転出数・転入超過数(日本人)	転入数 北海道←他都府県	↘	人	47,737(R1)→46,270(R6)→45,691(R7)	25
			転出数 北海道→他都府県	↘	人	55,467(R1)→52,598(R6)→50,508(R7)	25
			転入超過数 北海道↔他都府県	↗	人	▲7,730(R1)→▲6,328(R6)→▲4,817(R7)	25
		46:合計特殊出生率(道内市町村)	北海道	↘		1.24(R1)→1.06(R5)→1.01(R6)	28
		47:「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合		↘	%	75(R1)→74(R6)→68(R7)	28
		48:道内新規大学等卒業者の就職状況 (卒業者数、求職者数、就職者数、就職率、道内就職割合)	卒業者数	↘	人	32,793(R1)→31,171(R6)→30,059(R7)	28
			求職者数	↘	人	26,465(R1)→25,179(R6)→24,162(R7)	28
			就職者数	↘	人	25,358(R1)→23,753(R6)→23,102(R7)	28
			就職率	→	%	96(R1)→94(R6)→96(R7)	28
			道内就職割合	→	%	68.6(R1)→66.4(R6)→68.0(R7)	28

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

モニタリング指標一覧⑥

目標	施策	モニタリング項目		変化	単位	数値	頁
目標Ⅱ 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 (生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり)	2. デジタルの活用による生産空間の維持・発展 多様な豊かな地域社会の形成	49:北海道体験移住「ちょっと暮らし」 (実施市町村数、参加者数、滞在日数)	実施市町村数	↘	市町村	114(R1)→106(R5)→106(R6)	29
			参加者数	↗	人	4,666(R1)→4,951(R5)→5,951(R6)	29
			滞在日数	↗	日	94,924(R1)→93,911(R5)→115,046(R6)	29
		50:5G契約数		↗	万件	0.1(R1)→334.5(R5)→400.6(R6)	29
		51:「立地適正化計画」策定自治体数	道内	↗	市町村	18(R1)→47(R6)→51(R7)	29
		52:道内テレワーク導入企業割合		↗	%	16(R1)→36(R6)→37(R7)	30
		53:J-Startup HOKKAIDO認定スタートアップ企業の選定実績		↗	社	22(R2)→55(R6)→53(R7)	30
	3. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成	54:高規格道路開通延長		↗	Km	1,183km→1,196(R5)→1,219(R6)	30
		55:高規格道路整備によるICアクセス30分カバー率		↗	%	61.4(H26)→71.1(R5)→71.2(R6)	31
		56:札幌へのアクセス時間が短縮された道内の範囲 (1km ² メッシュの数)		↗	メッシュ	0(R4)→8,992(R6)→13,476(R7)	31
		57:北海道における営業用トラックの積載効率の推移		↗	%	33(R1)→38(R5)→38(R6)	31
		58:北海道における総生産額(一次産業)		↗	百億円	160(R1)→172(R4)→175(R5)	32
		59:札幌市における国際会議開催件数		↘	件	102(R1)→43(R5)→47(R6)	32

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

モニタリング指標一覧⑦

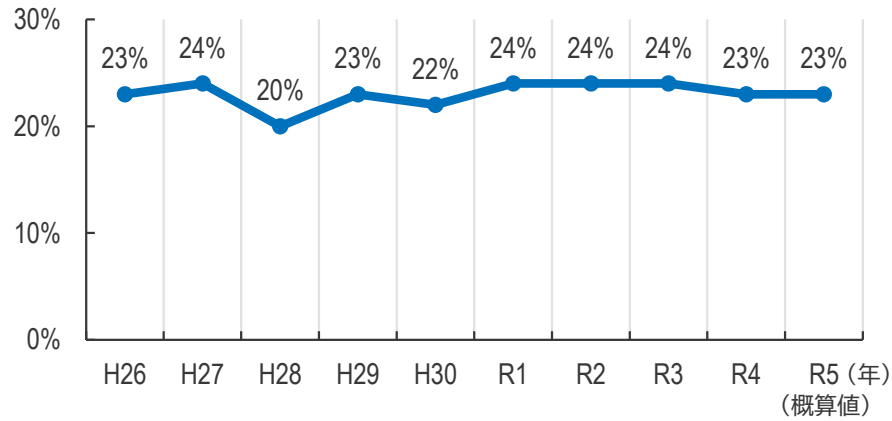
目標	施策	モニタリング項目	変化	単位	数値	頁	
目標 II 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 (生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり)	4. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり	60:一級水系及び二級水系において、連携して流域治水プロジェクトを策定している水系数	↗	水系	13(R2)→243(R6)→243(R7)	33	
		61:一級、二級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率	一級河川	↗	%	67(R1)→70(R6)→77(R7)	33
			二級河川	↗	%	50(R1)→57(R6)→62(R7)	33
		62:最大クラスの津波に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上に繋がる訓練を実施した市町村の割合	↘	%	75(R1)→65(R5)→68(R6)	33	
		63:最大クラスの洪水・内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識の向上に繋がる訓練を実施した市町村の割合	↗	%	55(R1)→88(R5)→91(R6)	33	
		64:冬期災害に備えた防災訓練の実施市町村数	↗	市町村	16(R1)→39(R5)→48(R6)	34	
		65:災害時における主要な管渠、下水処理場及びポンプ場の機能確保率	管渠	↗	%	45(R1)→57(R6)→51(R7)	34
			下水処理場	↗	%	26(R1)→30(R6)→32(R7)	34
			ポンプ場	↗	%	13(R1)→23(R6)→15(R7)	34
		66:緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強進捗率	→	%	73(R1)→74(R5)→75(R6)	34	
67:直轄土木工事におけるICT活用工事の実施率	↗	%	57(R1)→85(R6)→84(R7)	34			
68:リスク分散による企業立地件数	↘	件	27(R1)→28(R5)→21(R6)	35			

注) 基準年をコロナ前のR1年(度)又はデータ利用可能な前後の年(度)とし、最新データとの変化を比較。3%以上上昇(↗)、3%以上減少(↘)、横ばい(→)と矢印で傾向を表記。

第1節 1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展①

■国産供給熱量に占める北海道の割合

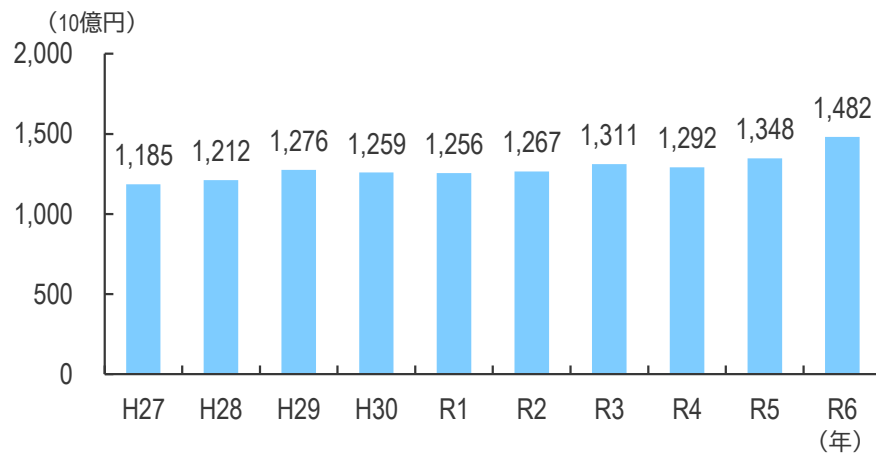
➤ 近年は約4分の1で推移。



出典：農林水産省「日本の食料自給率」、「都道府県の食料自給率」、総務省「人口推計(各年10月1日現在)」等から北海道局作成

■農業産出額

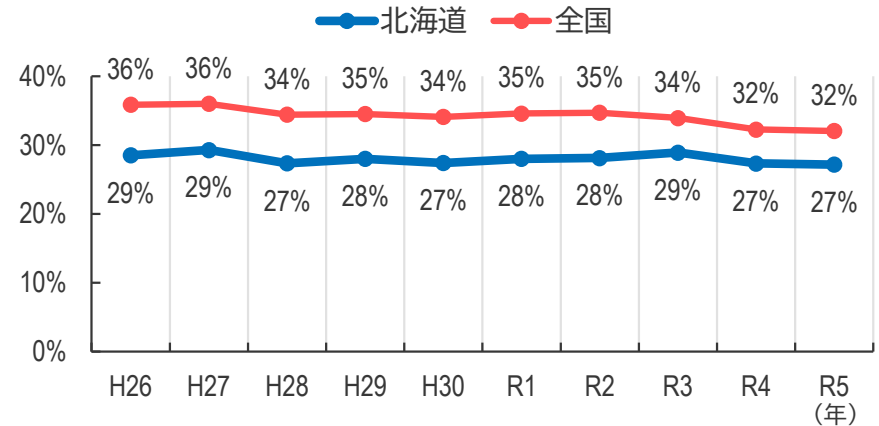
➤ 近年は増加傾向で推移。



出典：農林水産省「生産農業所得統計」から北海道局作成

■食品製造業の付加価値率

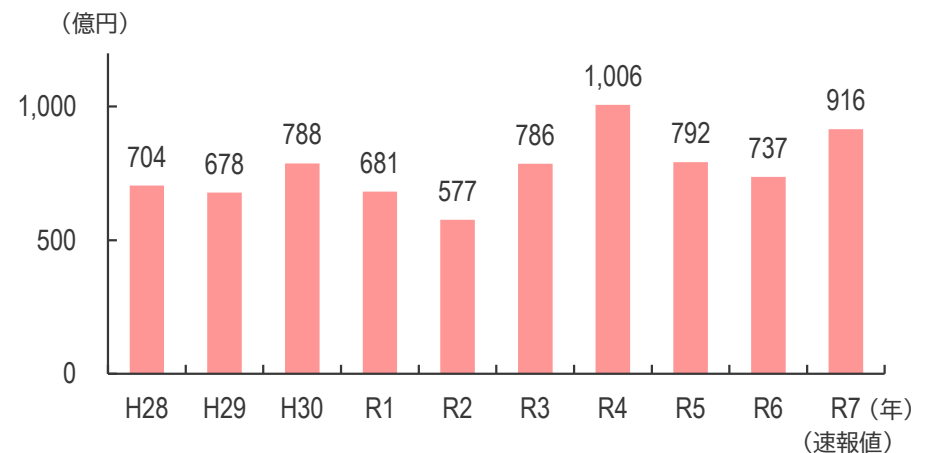
➤ 全国・北海道ともに低下傾向で推移。
➤ 北海道は全国より約5ポイント低い。



出典：経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、北海道「経済センサス-活動調査」から北海道局作成
※付加価値率=粗付加価値額÷製造品出荷額

■「食料品及び動物」輸出額

➤ 近年は減少傾向で推移。

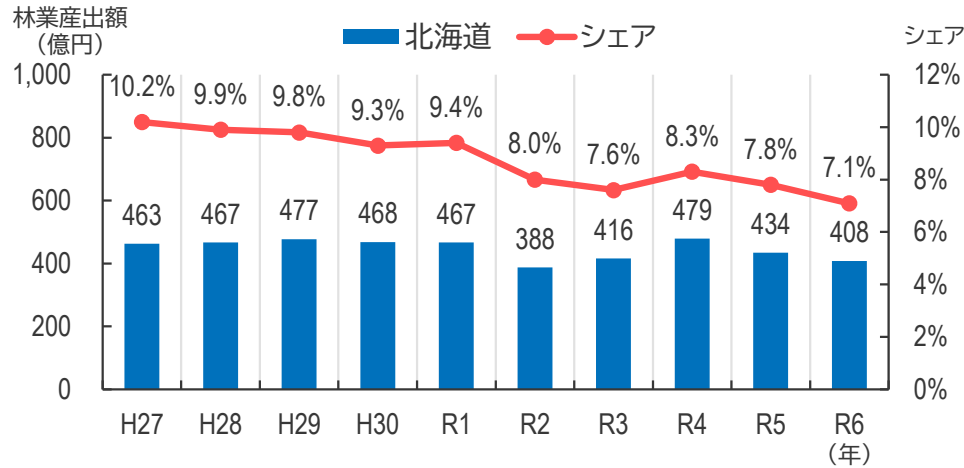


出典：函館税関「北海道貿易概況」から北海道局作成

第1節 1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展②

■林業産出額

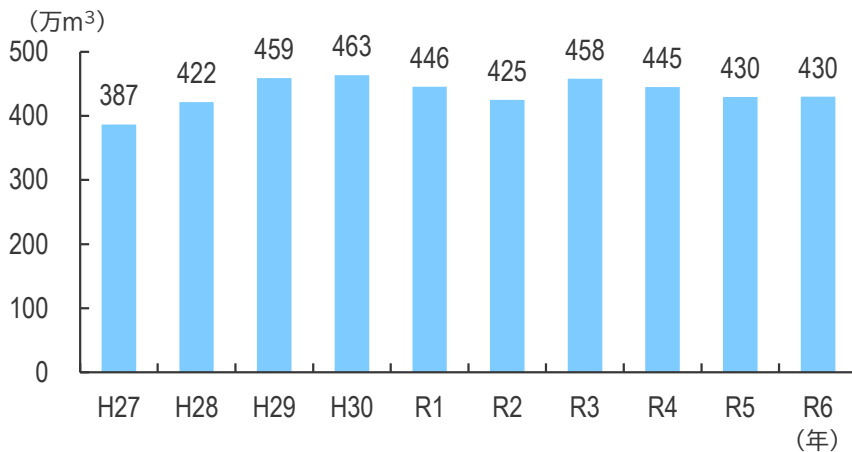
➤ 近年は横ばいで推移。全国に占めるシェアは低下傾向。



出典：農林水産省「林業産出額」から北海道局作成

■道産木材の供給量

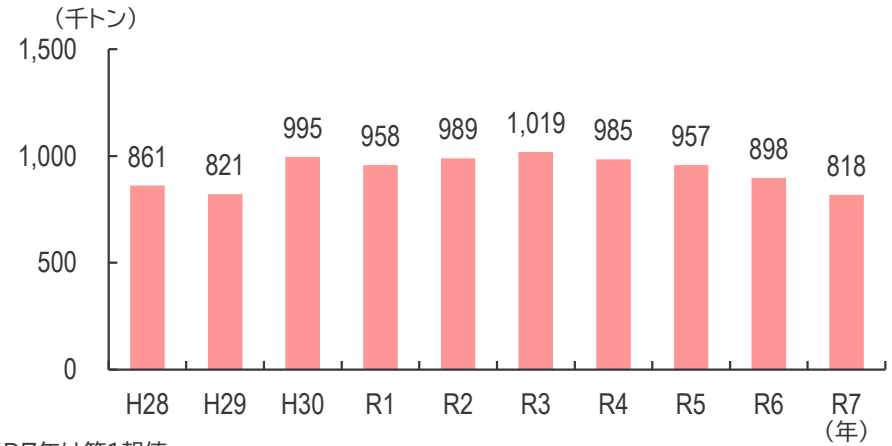
➤ 近年は400万m³超で推移。



出典：北海道「北海道木材需給実績」から北海道局作成

■海面漁業・養殖業生産量

➤ H29年まで減少傾向。H30年以降、100万トン前後で推移。



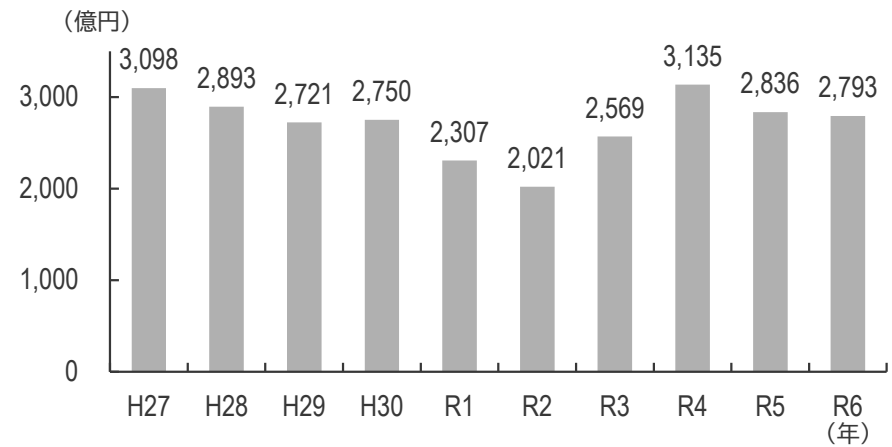
※R7年は第1報値

出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」から北海道局作成

※捕鯨業(海面漁業)、種苗(海面養殖業)を除く。

■海面漁業・養殖業産出額

➤ 近年は3,000億円前後で推移。

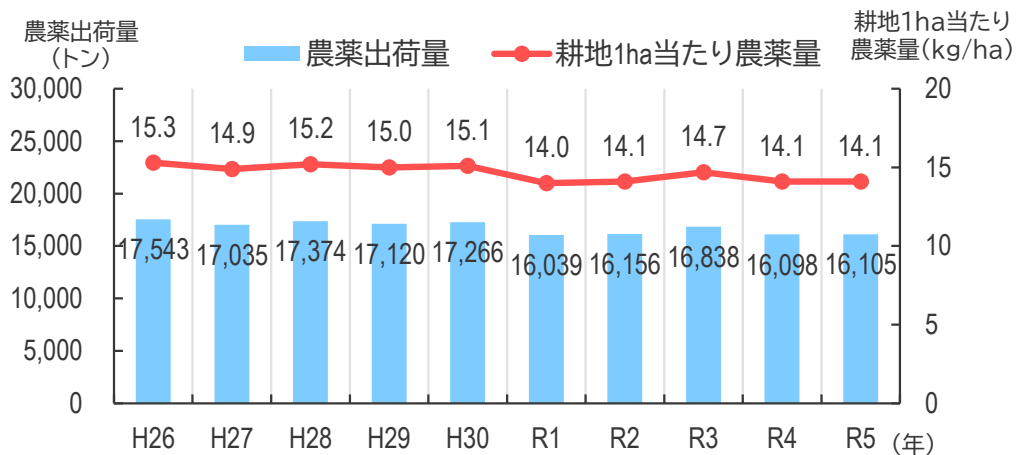


出典：農林水産省「漁業産出額」から北海道局作成

※捕鯨業(海面漁業)、種苗(海面養殖業)を除く。

■化学農薬出荷量

➤ 耕地面積1ha当たりの農薬出荷量はR元年以降やや低下。

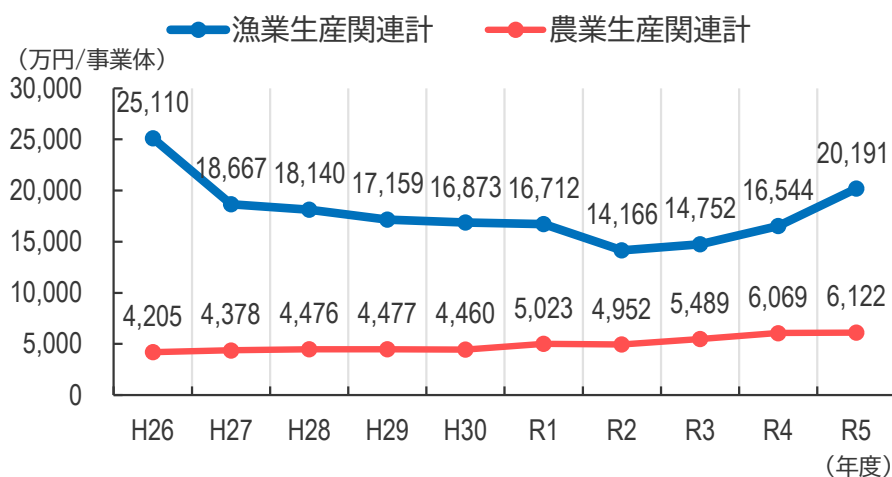


出典：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、
日本植物防疫協会「農薬要覧」から北海道局作成

※耕地面積：田畑(本地・畦畔)の合計
(畑には樹園地・牧草地を含む。)

■6次産業の1事業体当たりの年間販売金額

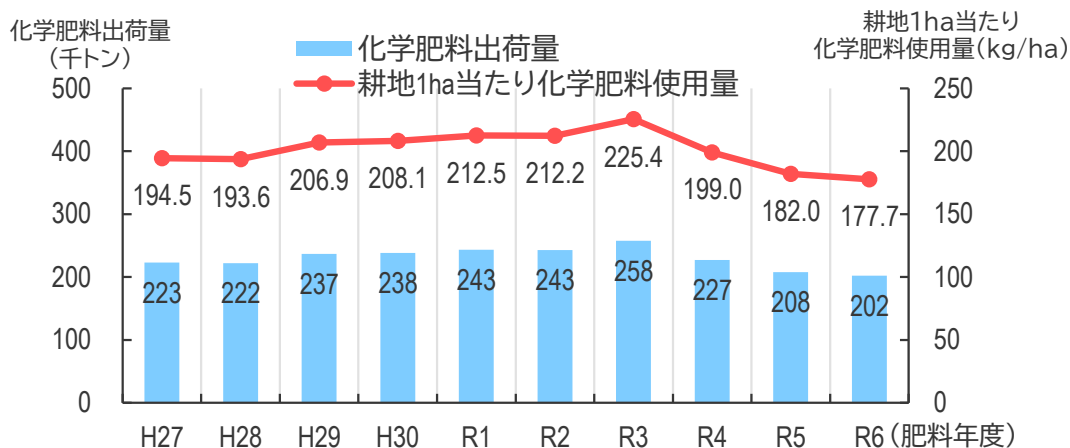
➤ 農業生産関連では近年微増傾向。漁業生産関連は増加傾向で推移。



出典：農林水産省「6次産業化総合調査報告」から北海道局作成

■化学肥料出荷量

➤ 耕地面積1ha当たりの化学肥料出荷量はR6年で急減。



出典：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、
(一社)日本肥料アンモニア協会

「単肥及び複合肥料 都道府県別出荷実績」から北海道局作成

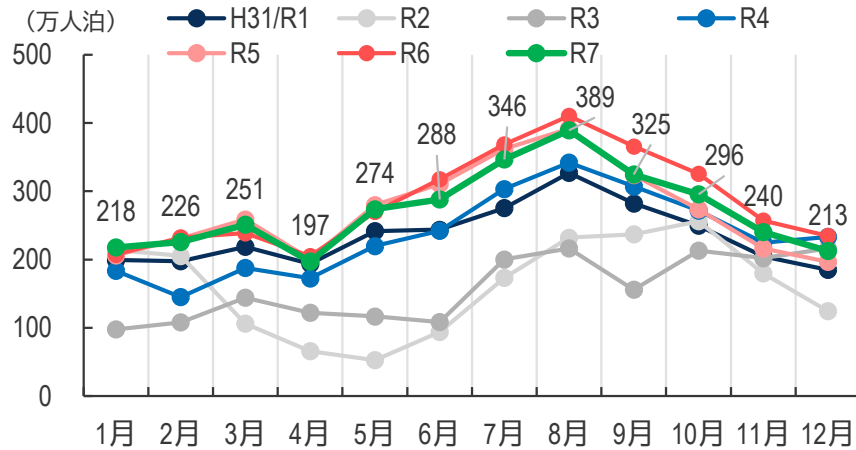
※肥料年度：各年7月～翌年6月のデータ
※耕地面積：田畑(本地・畦畔)の合計

(畑には樹園地・牧草地を含む。)

第1節 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり①

■月別延べ宿泊者数(日本人)

▶ 日本人の宿泊は8月が最も多く、4月が最も少なくなる傾向がある。

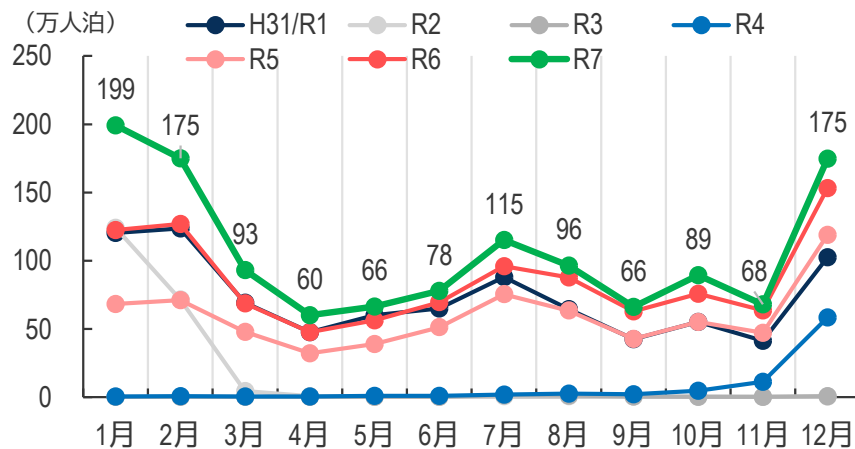


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」から北海道局作成

※R7数値は速報値。

■月別延べ宿泊者数(外国人)

▶ 外国人の宿泊は冬期(12~2月)、次いで7月が多くなる傾向がある。

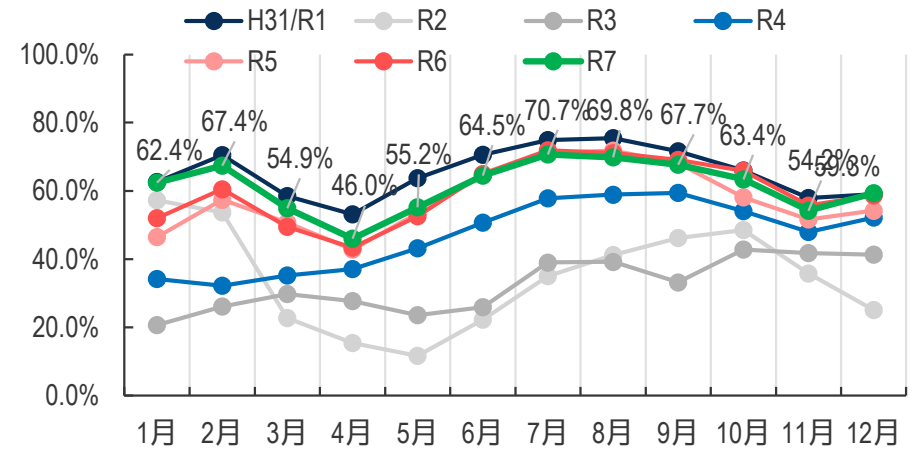


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」から北海道局作成

※R7数値は速報値。

■月別の客室稼働率

▶ 客室稼働率はコロナ禍前水準に戻りつつある。

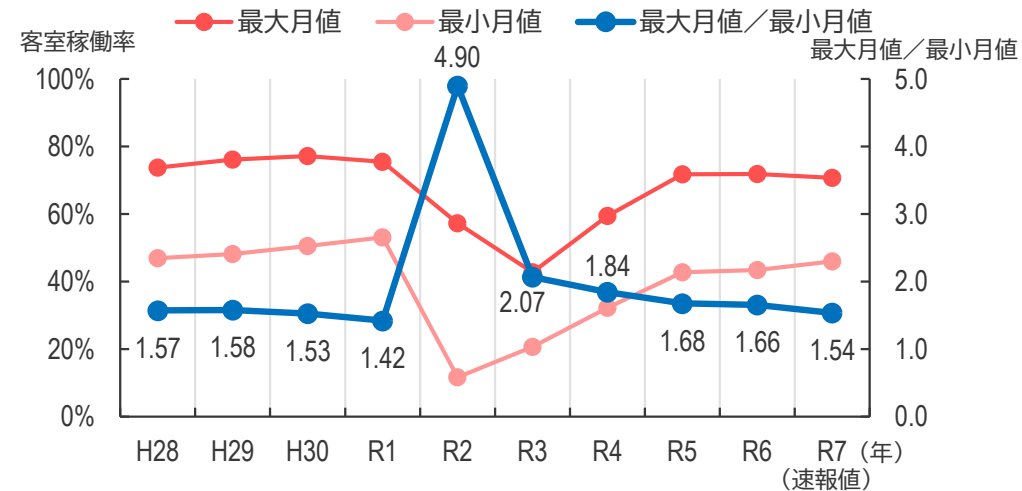


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」から北海道局作成

※R7数値は速報値。

■最大月及び最小月の客室稼働率

▶ 客室稼働率の最大月と最小月の比は低下傾向。



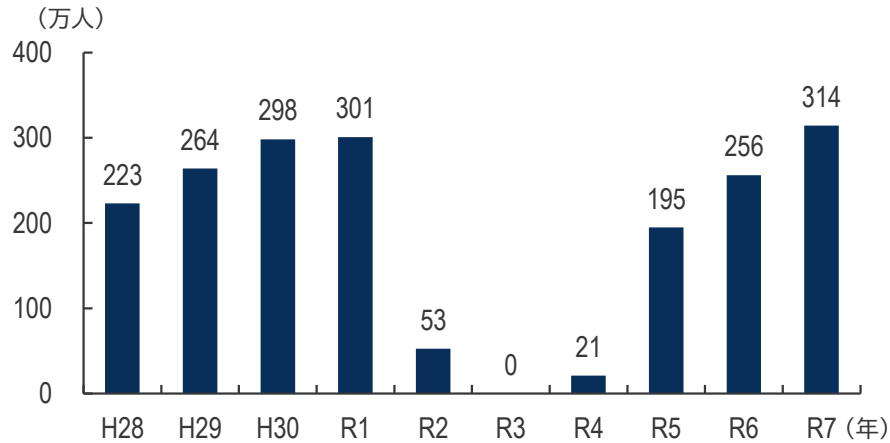
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」から北海道局作成

※数字は最大月値/最小月値。

第1節 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり②

■外国人来道者数

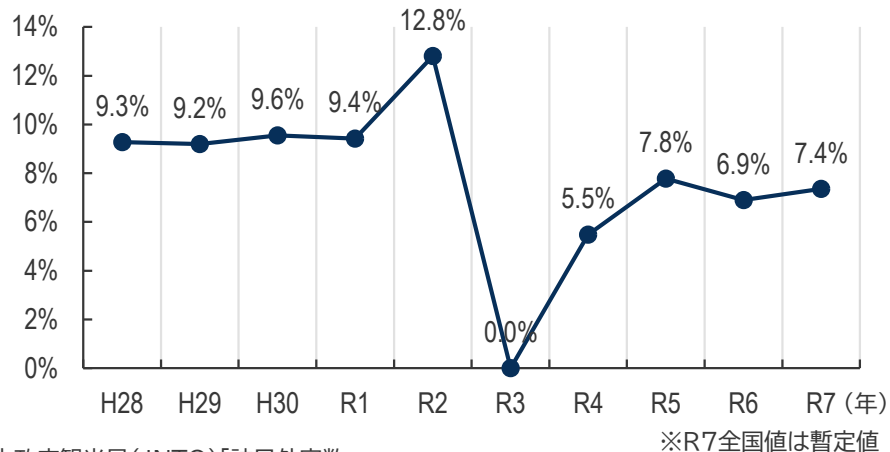
▶ 外国人来道者数は、コロナ禍を経て回復途上。



出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

■訪日外国人旅行者数の北海道シェア

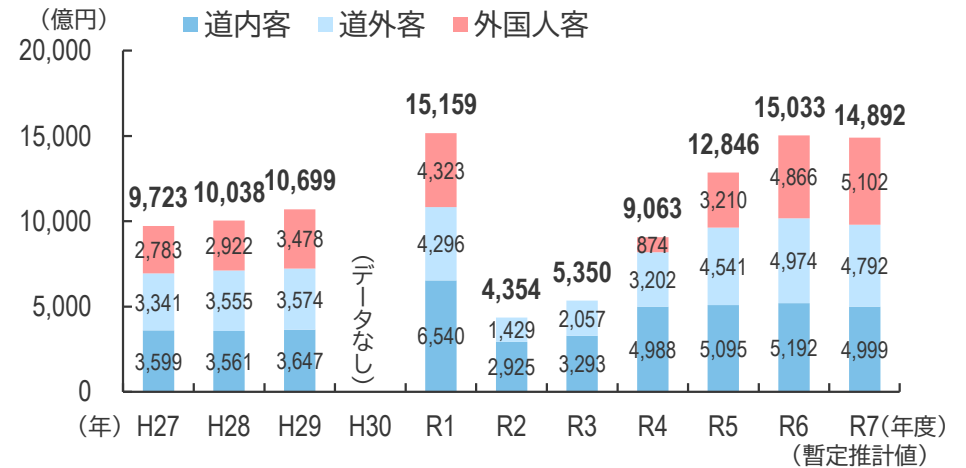
▶ 訪日外国人旅行者数に占める北海道シェアは、コロナ禍以前は10%前後で推移。



出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」、北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

■来道旅行者の観光消費額(道内客・道外客・外国人客)

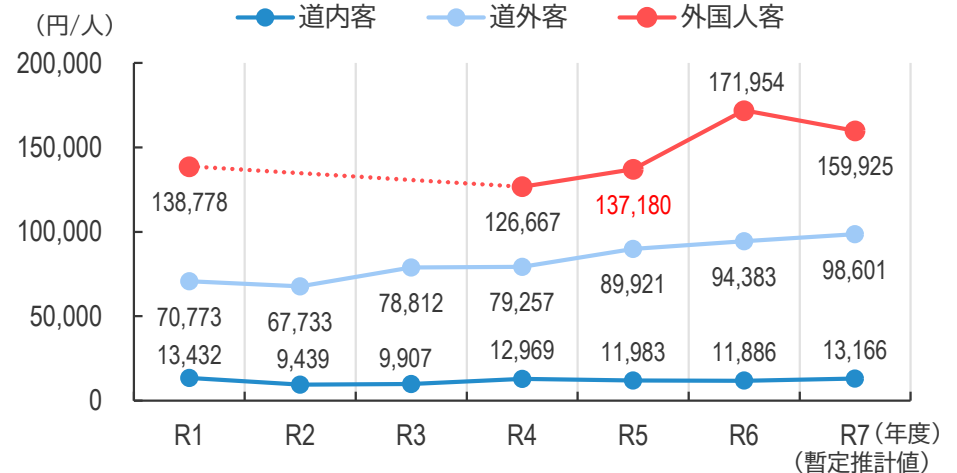
▶ 道内客・道外客・外国人客で3分する傾向。外国人客の消費は回復途上。



出典：観光庁「共通基準による観光入込客統計」(H26～H29年)、北海道観光機構「北海道来訪者満足度調査報告書」(R1～R7年度)から北海道局作成 ※H26～H29年は暦年、R1年度以降は年度。

■来道旅行者の1人当たりの消費額(道内客・道外客・外国人客)

▶ 近年、道外客の1人当たり消費額が漸増傾向。

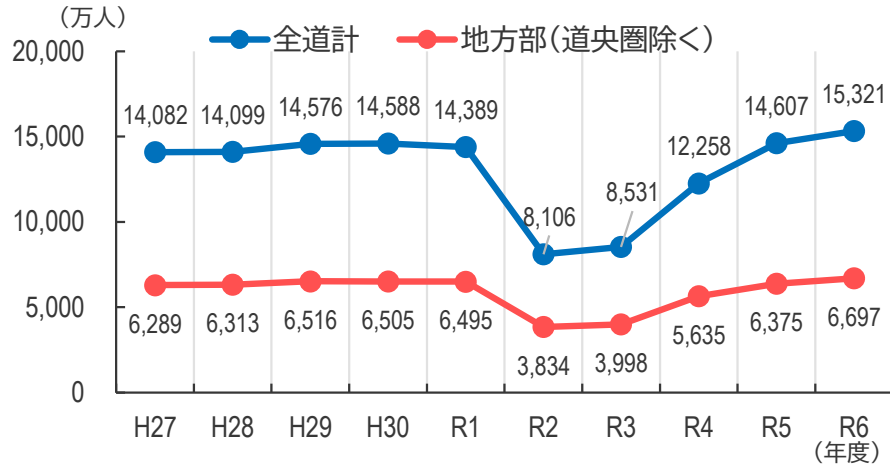


出典：北海道観光機構「北海道来訪者満足度調査報告書」から北海道局作成 ※R2～3年度は外国人客の消費データなし。

第1節 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり②

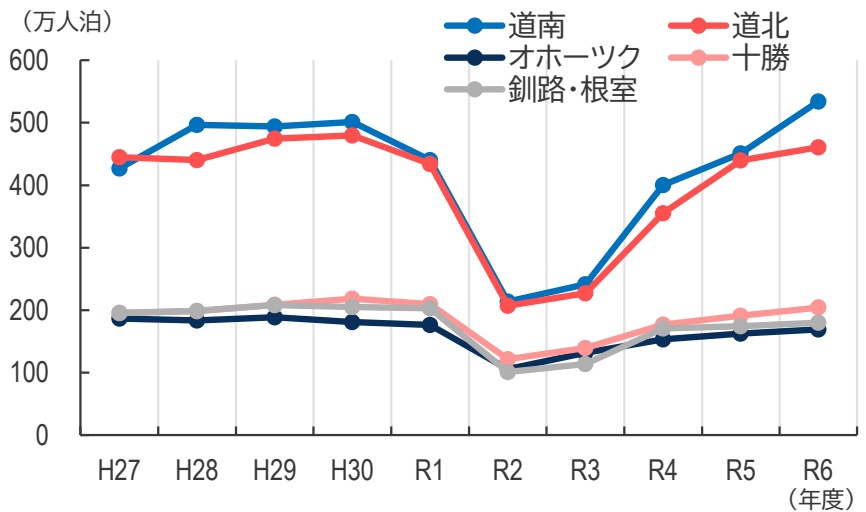
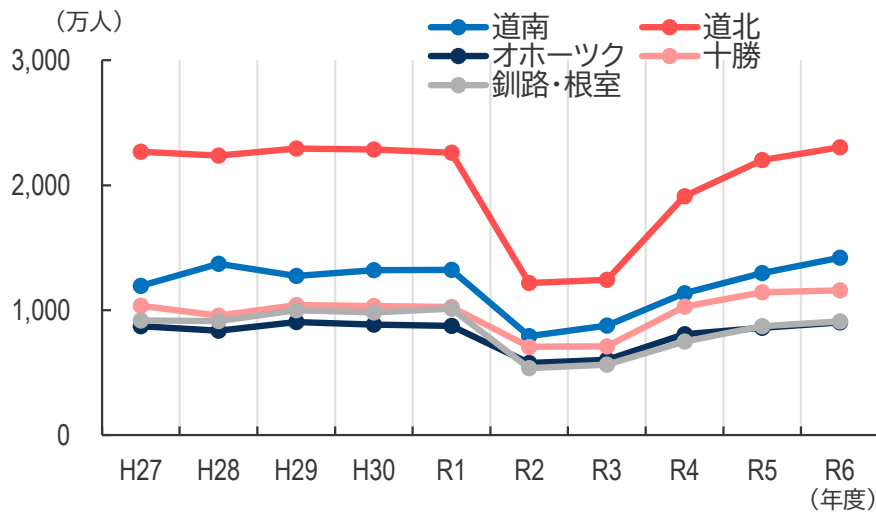
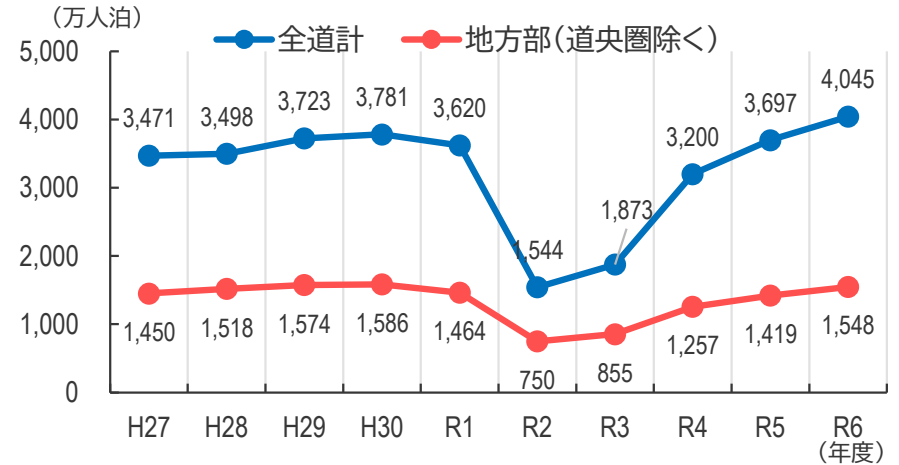
■圏域別 観光入込客数

- R6年度には過去最高まで増加。
- 道央圏が全道の56%を占める。



■圏域別 国内宿泊客延数

- R6年度には過去最高まで増加。
- 道央圏が全道の62%を占める。



出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

※R1、R4、R5年度の数値は、公表値修正後のもの。

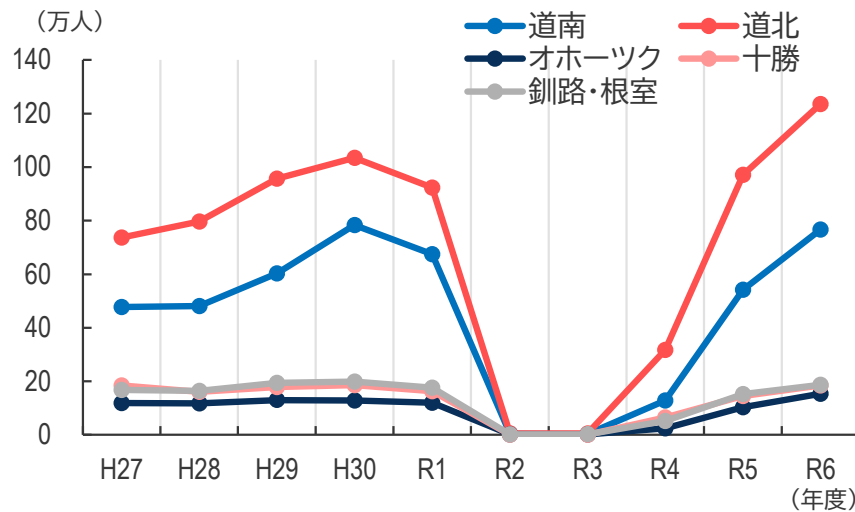
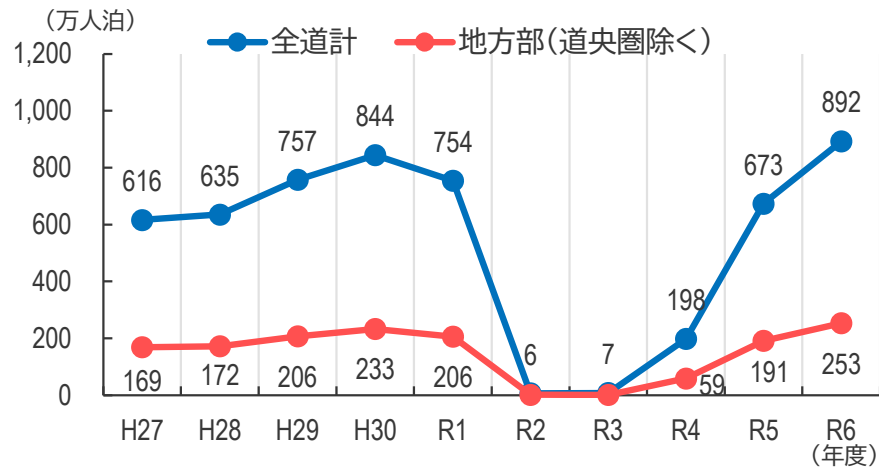
出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

※R4、R5年度の数値は、公表値修正後のもの。

第1節 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり④

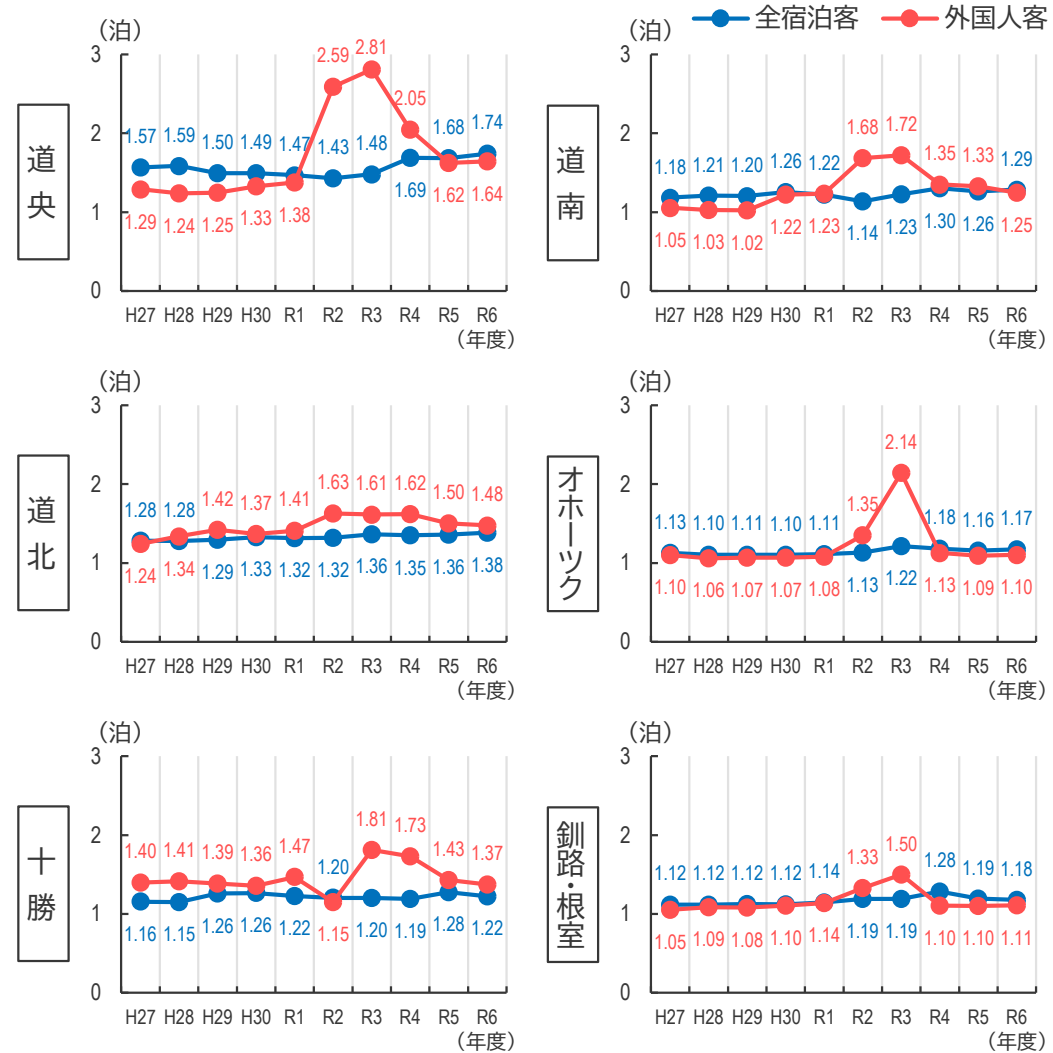
■圏域別 外国人宿泊客延数

- R6年度には過去最高まで増加。
- 道央圏が全道の72%を占める。



■平均泊数(全宿泊者・外国人客)

- 外国人の平均泊数は、道央・道南・道北でコロナ禍以前よりも増加傾向。



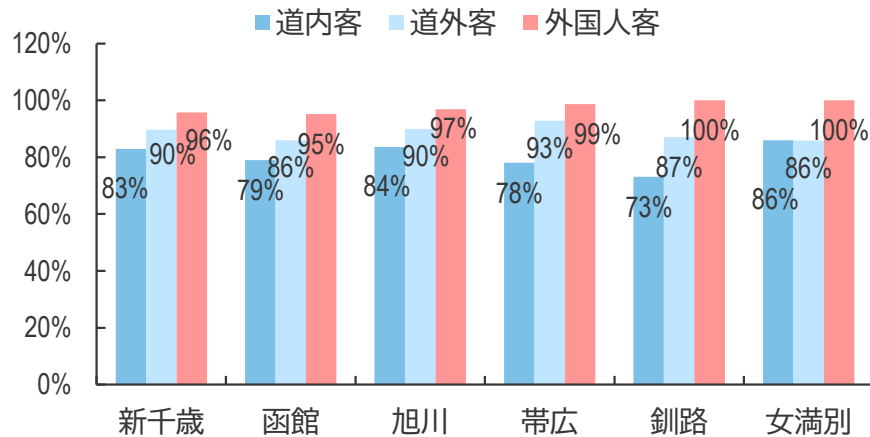
出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から 北海道局作成 ※H27、R4年度の数値は、公表値修正後のもの。

出典：北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

第1節 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり⑤

■道内観光の満足度(道内客・道外客・外国人客)

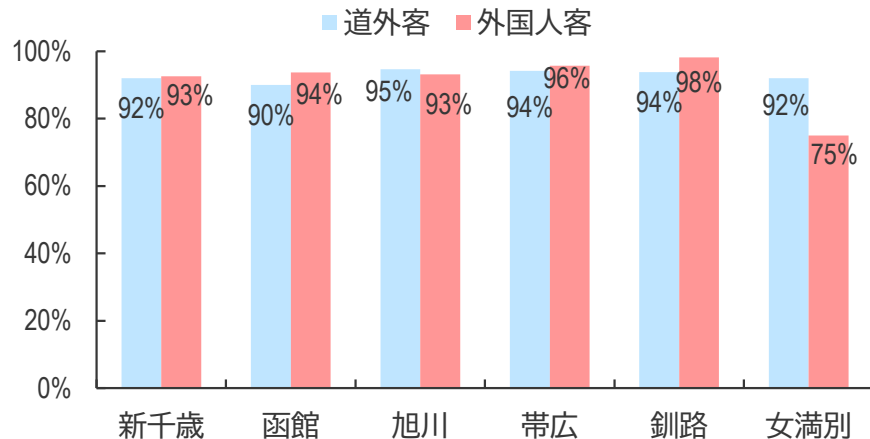
▶ 外国人客の満足度は高い。



出典：北海道観光機構「北海道来訪者満足度調査報告書」から北海道局作成 ※R7年度調査結果。
※6圏域の主要空港別満足度

■北海道への再訪意向(道外客・外国人客)

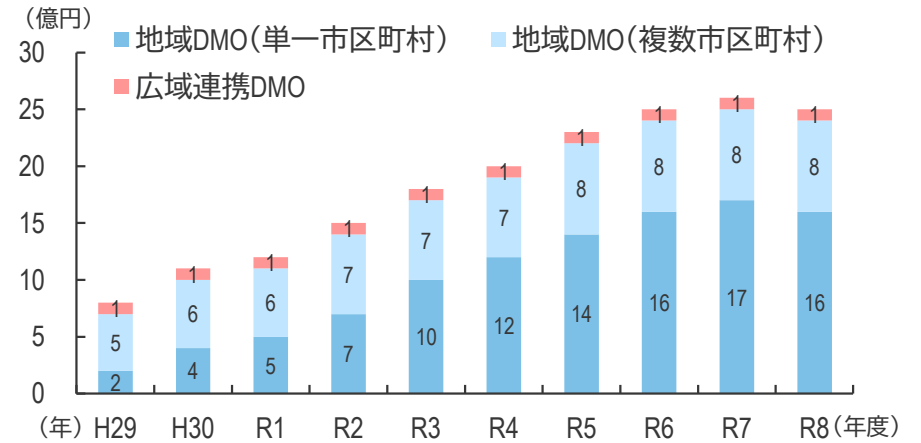
▶ 道外客・外国人客ともに、再訪意向は高い。



出典：北海道観光機構「北海道来訪者満足度調査報告書」から北海道局作成 ※R7年度調査結果。
※6圏域の主要空港別再訪意欲。

■道内のDMO登録件数(持続可能な観光地域づくりに取り組む地域)

▶ 近年増加傾向。累計25件が登録(R8年4月1日現在)。



出典：観光庁「地域づくり法人(DMO)」(R8年4月1日現在)から北海道局作成
※R4年度の登録DMO3件のうち、1件は登録済みDMOからの移行のためカウントしていない。

■国際認証・表彰の地域数

▶ 近年、持続可能な観光地域づくりに取り組む地域として、ニセコ町、弟子屈町及び美瑛町が国際的な認証・表彰を取得。

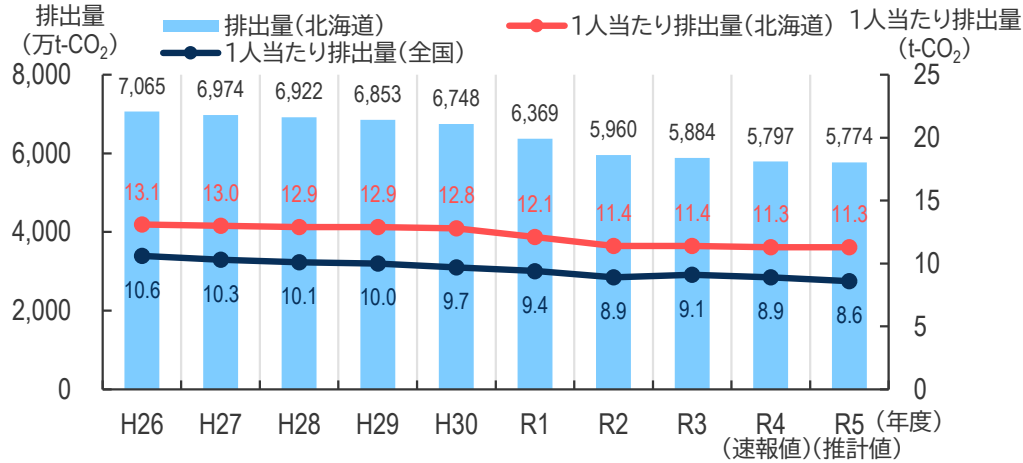
年	グリーン・デスティネーションズによる表彰	ベスト・ツーリズム・ビレッジによる認定
R2	ニセコ町	
R3	ニセコ町	ニセコ町
R4		
R5	ニセコ町、弟子屈町	美瑛町
R6		
R2~R6年累計	4件	2件

出典：Green Destinations Japan「受賞地域」、観光庁HPから北海道局作成

第1節 3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現

■温室効果ガス排出量

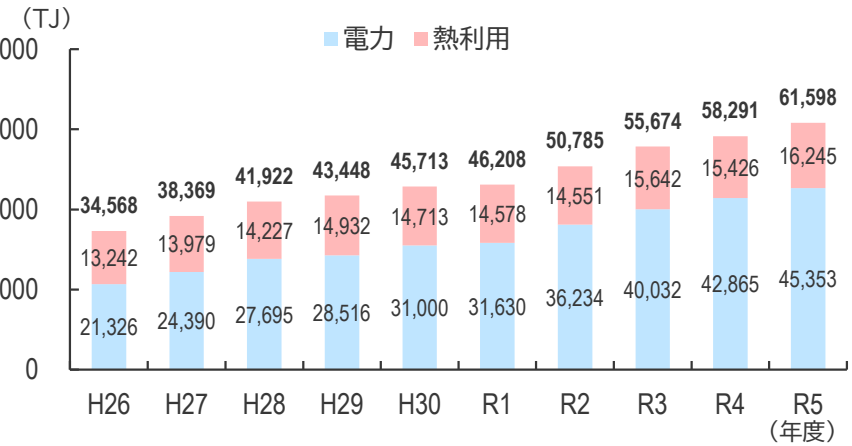
▶ 総量・1人当たりともに減少傾向だが、1人当たりでは全国の1.31倍。



出典: 北海道「ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組に関する年次報告」から北海道局作成

■新エネルギーの発電電力量・熱利用量

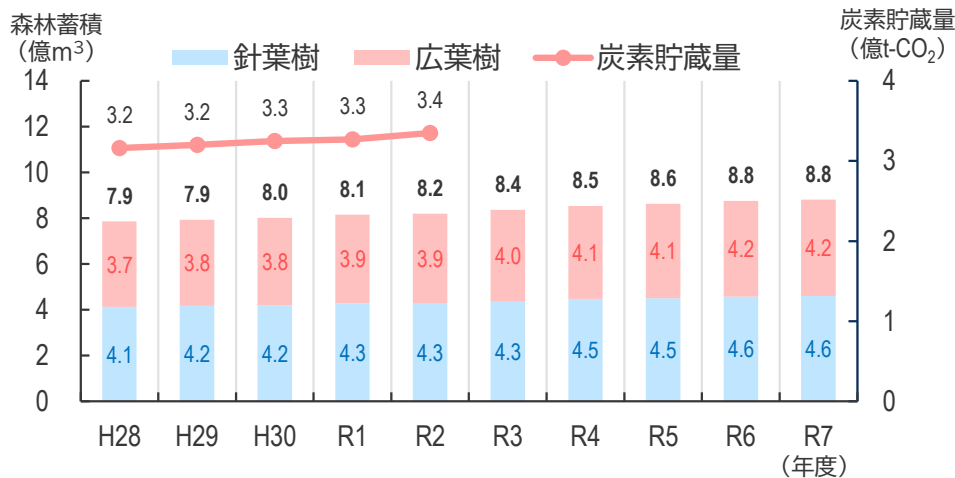
▶ 新エネルギーの利用実績、特に電力での利用実績は、年々増加傾向。



出典: 北海道「省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況」から北海道局作成

■森林蓄積・森林の炭素貯蔵量

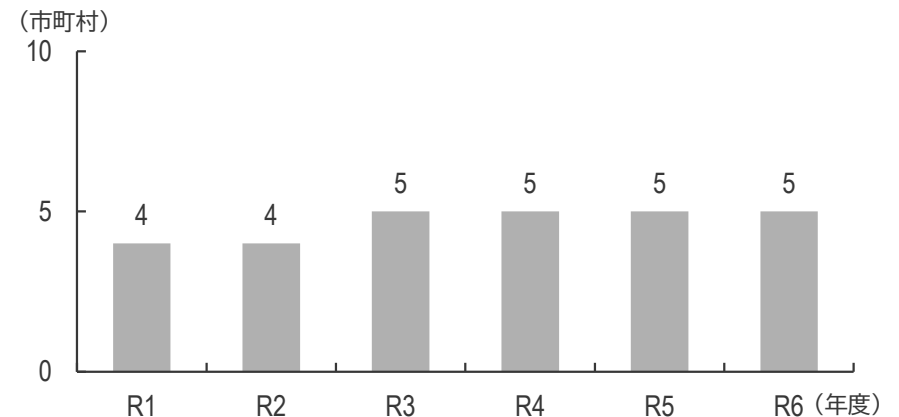
▶ 森林蓄積・炭素貯蔵量ともに増加傾向。



※森林蓄積: 各年4月1日現在、炭素貯蔵量: 年度
出典: 北海道「北海道林業統計」、「北海道森林づくり白書」から北海道局作成

■地域マイクログリッド構築に取り組む市町村数

▶ R3年度以降は5市町村で推移。

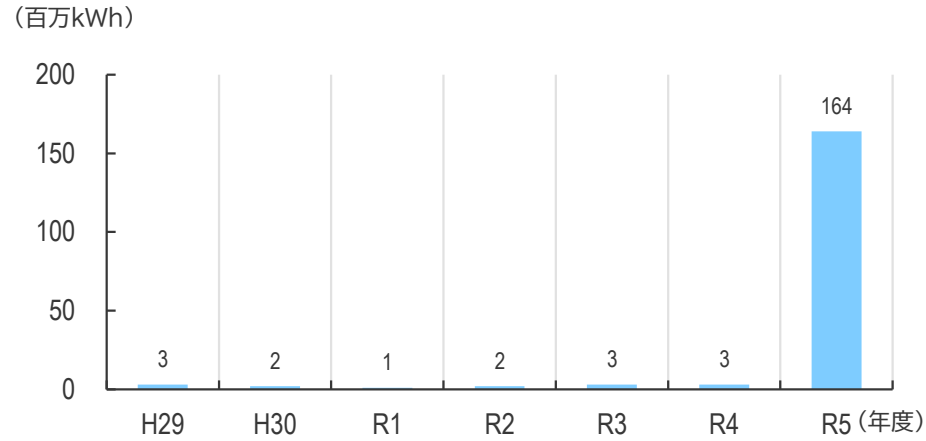


出典: 北海道「ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組に関する年次報告」から北海道局作成

第1節 3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現

■洋上風力の発電電力量

➤ 洋上風力の発電電力量はR5年度に設備の普及で急増。

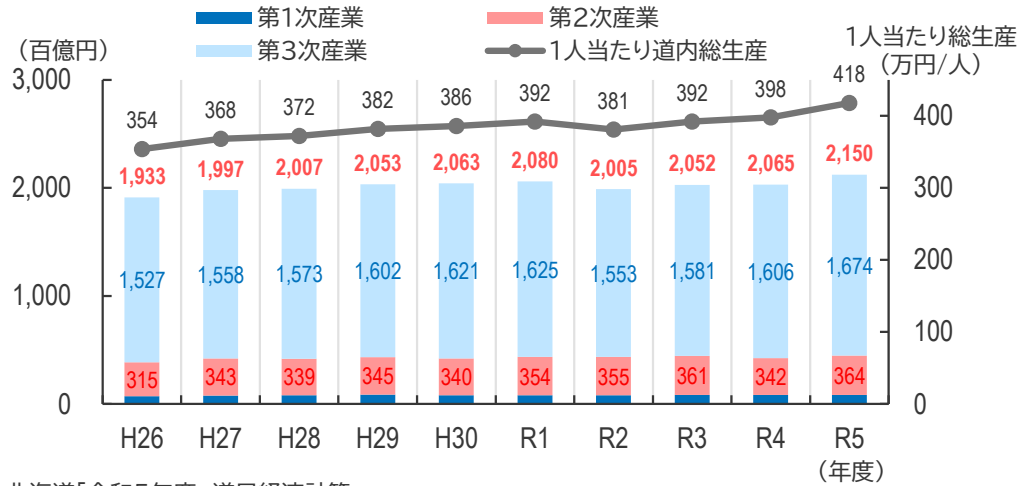


出典：北海道「道内における審エネルギーの導入状況」、
北海道「北海道省エネ・新エネ促進条例、行動計画等 関連施策と取組」から北海道局作成

第1節 4. 地域の強みを活かした成長産業の形成①

■道内総生産、1人あたり道内総生産

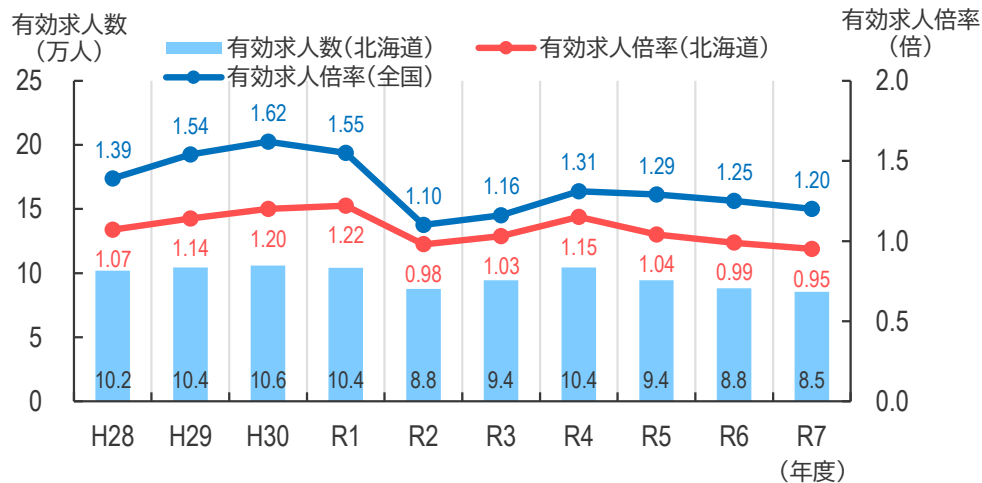
➤ 道内総生産は20兆円前後で推移。1人あたり総生産は漸増傾向。



出典：北海道「令和5年度 道民経済計算」、北海道地域行政局市町村課調べ「住民基本台帳人口・世帯数」から北海道局作成

■有効求人倍率

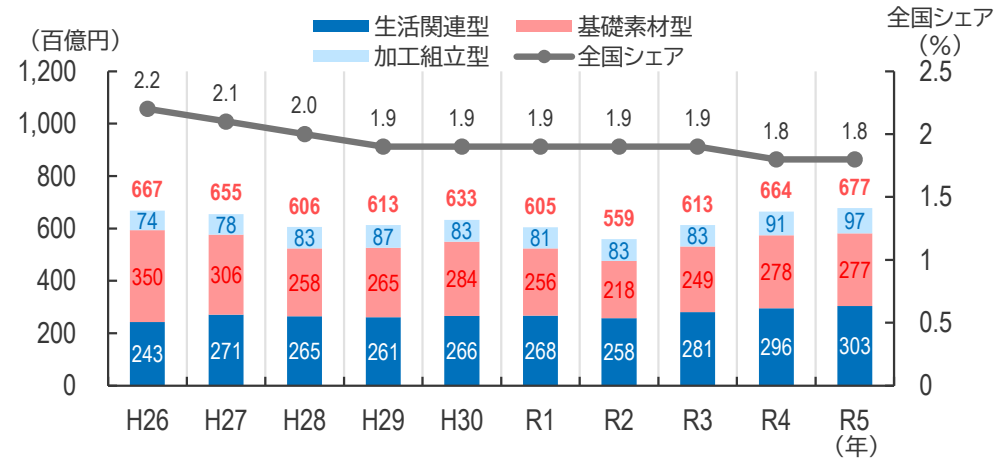
➤ 有効求人倍率はコロナ禍以降0.9～1.1倍前後で推移。



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」から北海道局作成

■製造品出荷額

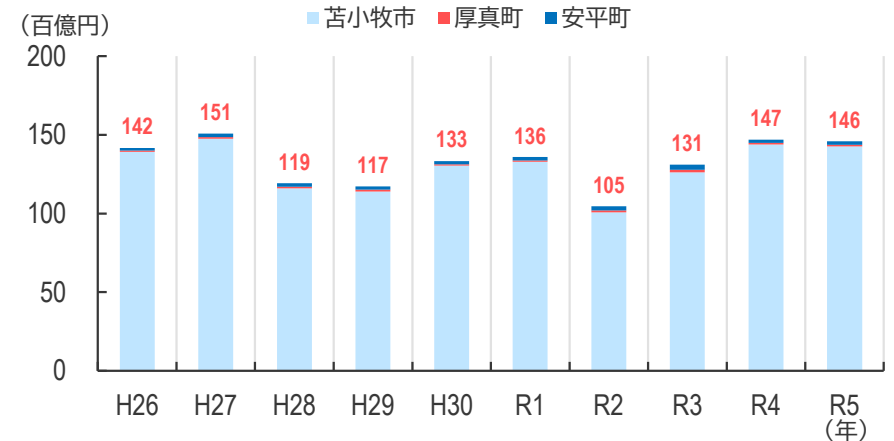
➤ 製造品出荷額は近年増加傾向にあるが、全国シェアは低下傾向。



出典：北海道「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」から北海道局作成

■苫小牧東部地域における製造品出荷額(苫小牧市・厚真町・安平町)

➤ 苫小牧東部地域における製造品出荷額は1.0～1.5兆円前後で推移。

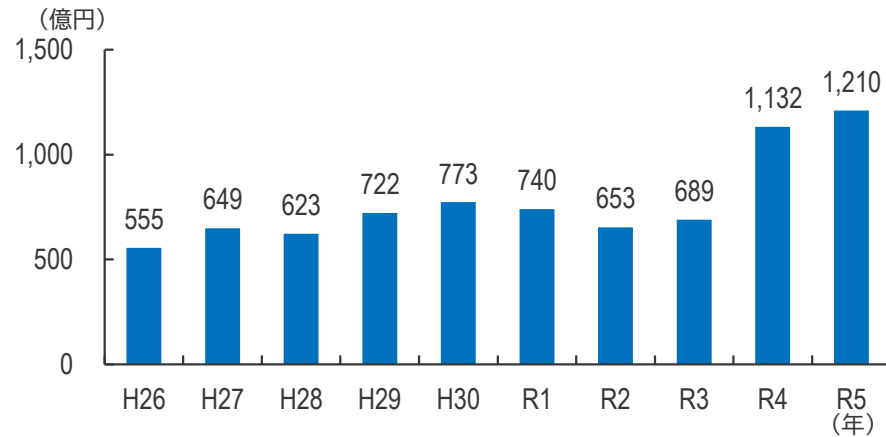


出典：北海道「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」から北海道局作成

第1節 4. 地域の強みを活かした成長産業の形成②

■半導体関連産業の出荷額

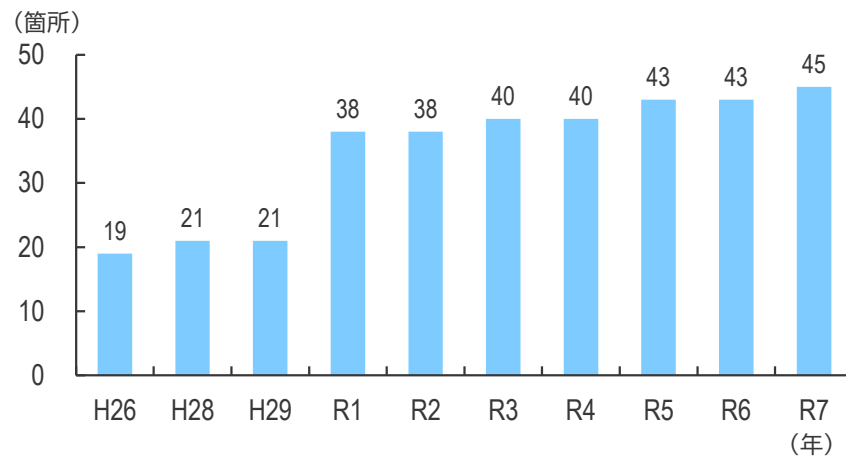
▶ 半導体関連産業の出荷額は近年増加傾向。



出典: 北海道「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」から北海道局作成

■北海道内のデータセンター立地数

▶ データセンター立地数は増加傾向。

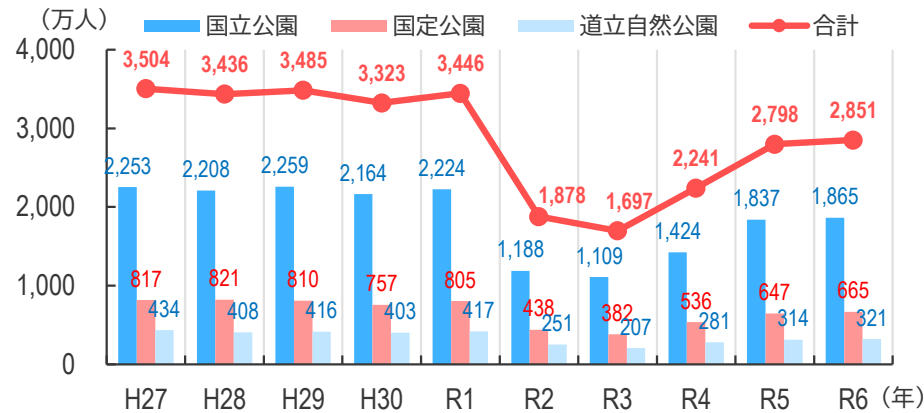


出典: 北海道「北海道におけるデータセンターの立地環境」から北海道局作成

第1節 5. 自然共生社会・循環型社会の形成

■自然公園利用者数

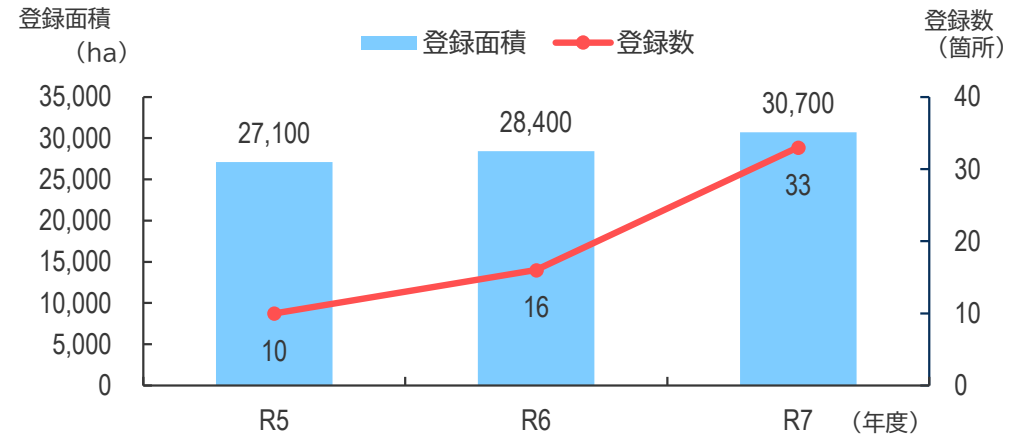
➢ コロナ禍を経て回復途上。



※日高山脈襟裳十勝国立公園(旧日高山脈襟裳国定公園)は、R6年より国立公園としてカウント。
出典：環境省「自然公園等利用者数調」から北海道局作成

■自然共生サイト登録数、登録面積

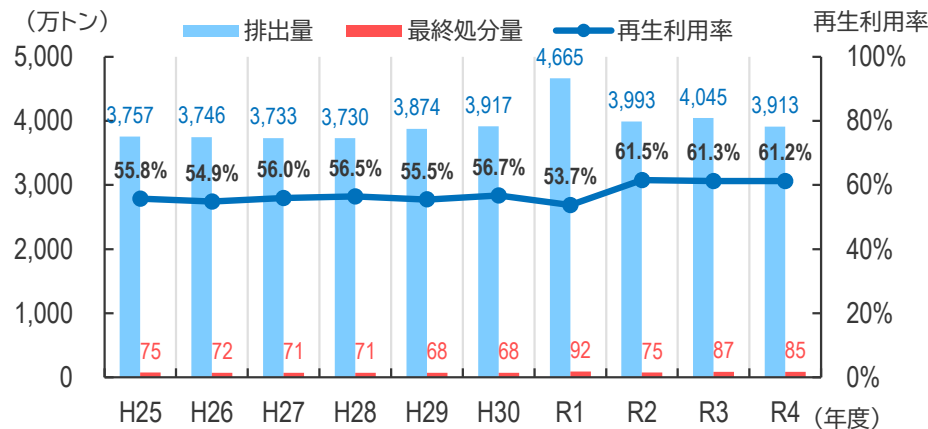
➢ 自然共生サイト登録数、登録面積ともに増加傾向。



※R8.3.17時点
出典：環境省「30by30自然共生サイト」HPから北海道局作成

■産業廃棄物排出量・再生利用率・最終処分量

➢ 排出量はR2年度から横ばい。再生利用率はR2年度に上昇。

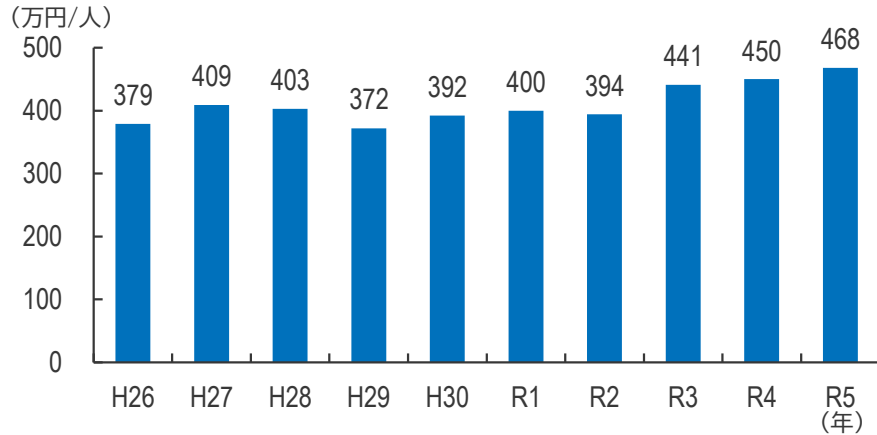


※数値は全て推計値
出典：北海道「北海道産業廃棄物処理状況調査」から北海道局作成

第1節 6. 北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興

■北方領土隣接地域の一人当たり主要生産額

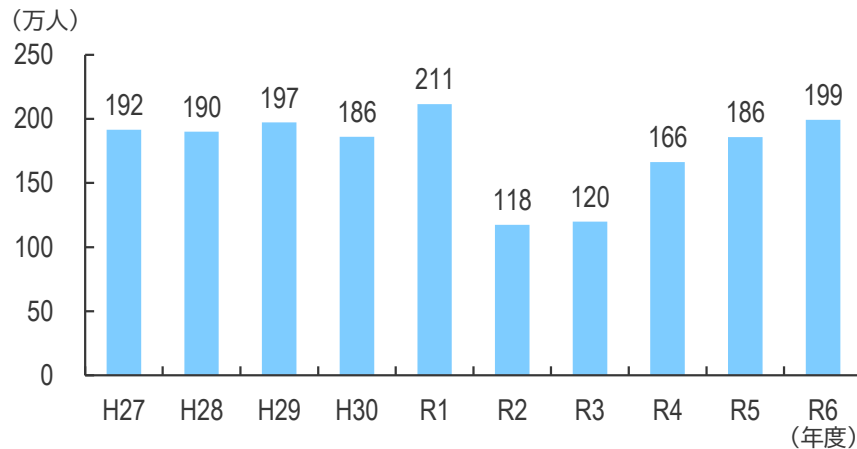
▶ 北方領土隣接地域(根室市・別海町・中標津町・標津町・羅臼町)の人口1人当たり主要生産額(農業・漁業・製造業計)は微増傾向。



出典: 農林水産省「畜産統計(乳用牛飼養戸数・頭数)」、北海道「水産統計(北海道水産現勢)」、経済産業省「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」、北海道「住民基本台帳人口・世帯数」等から北海道局作成

■国境周辺地域への観光入込客数

▶ コロナ禍を経て回復傾向。

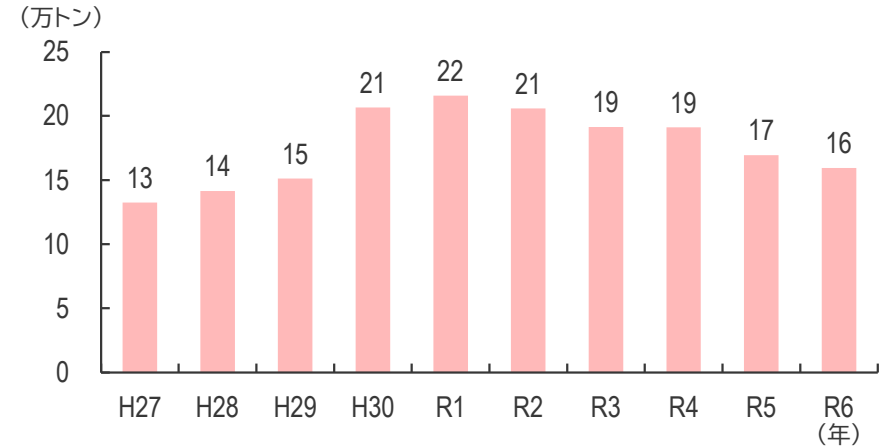


出典: 北海道「北海道観光入込客数調査報告書」から北海道局作成

※宗谷総合振興局管内・奥尻町の合計。

■国境周辺地域の漁業生産量

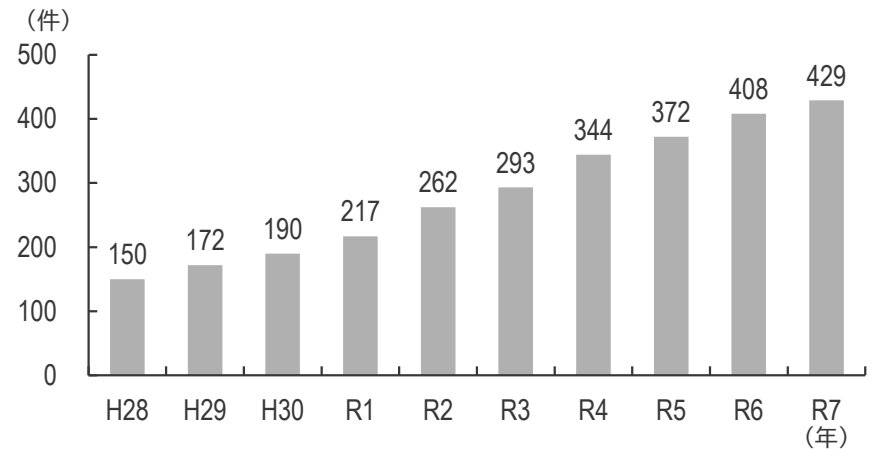
▶ 近年減少傾向で推移。



出典: 北海道「水産統計(北海道水産現勢)」から北海道局作成 ※宗谷総合振興局管内・奥尻町の合計。

■国境周辺地域の再生可能エネルギー導入実績

▶ 再生可能エネルギーの導入件数は年々着実に増加。



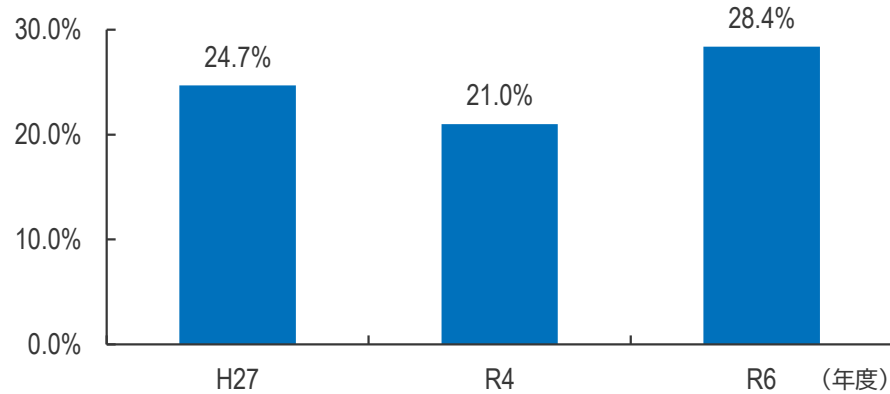
出典: 資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」から北海道局作成

※各年3月末時点。
※宗谷総合振興局管内・奥尻町の合計。

第1節 7. アイヌ文化の振興等

■アイヌの人々やアイヌ文化に接したことがある割合

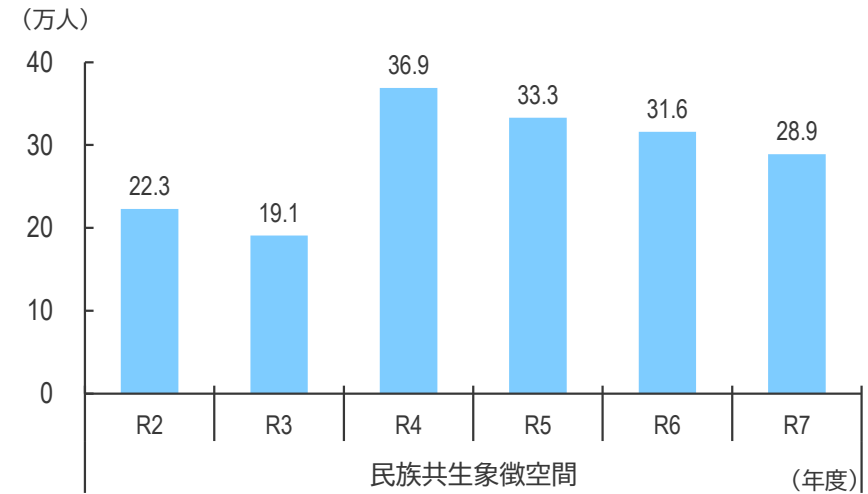
➤ 近年、2割程度にとどまっている。



出典：H27年度：内閣府「国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査(H28年1月)」、
R4年度：内閣府「アイヌに対する理解度に関する世論調査(R4年11月)」、
内閣官房「R6年度 国民のアイヌに対する理解度についての意識調査(R7年1月)」から北海道局作成

■民族共生象徴空間(ウポポイ)への年間来場者数

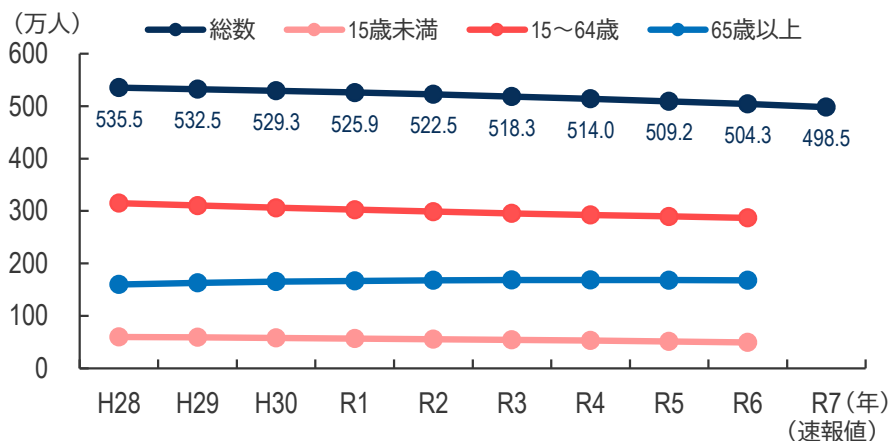
➤ 令和4年度をピークに減少傾向。



出典：公益財団法人アイヌ民族文化財団「事業報告書・決算報告書」から北海道局作成

■北海道の人口(日本人+外国人:総数、年齢3区分)

➤ 北海道の人口は減少傾向が継続。

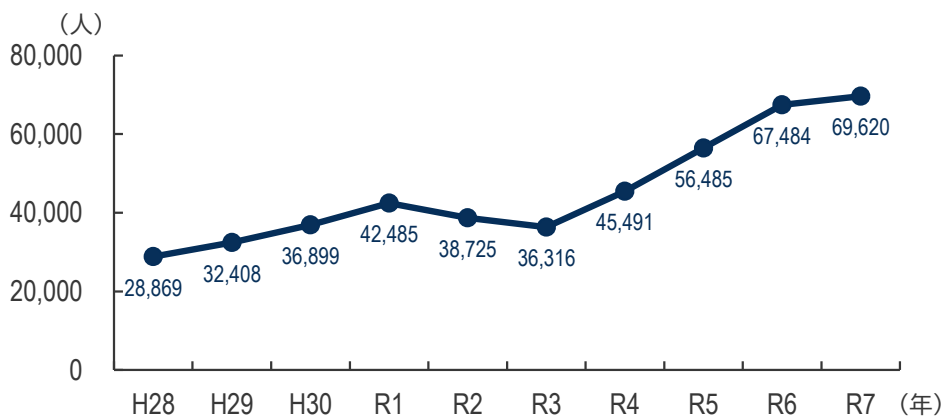


出典: 総務省「国勢調査」、「人口推計」から北海道局作成

※各年10月1日現在

■在留外国人数

➤ コロナ禍以降、年約1万人のペースで増加。

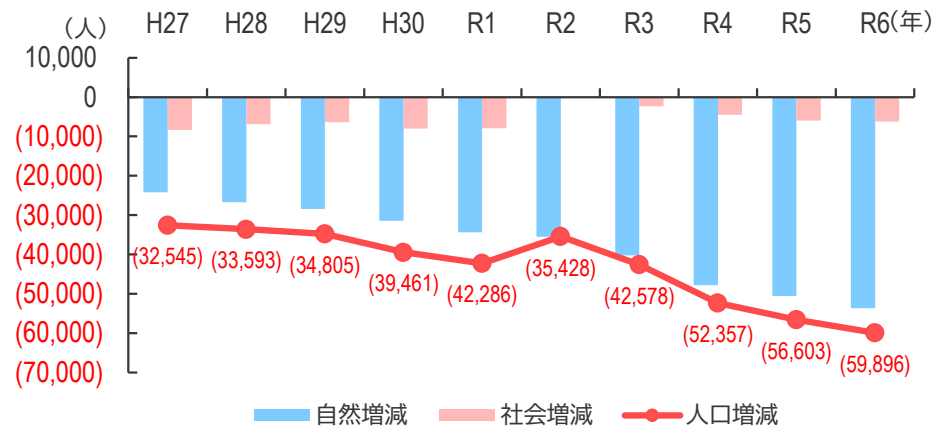


※R6年以前:12月末現在。R7年:6月末現在。

出典: 法務省「在留外国人統計」から北海道局作成

■人口増減数(自然増減・社会増減:日本人)

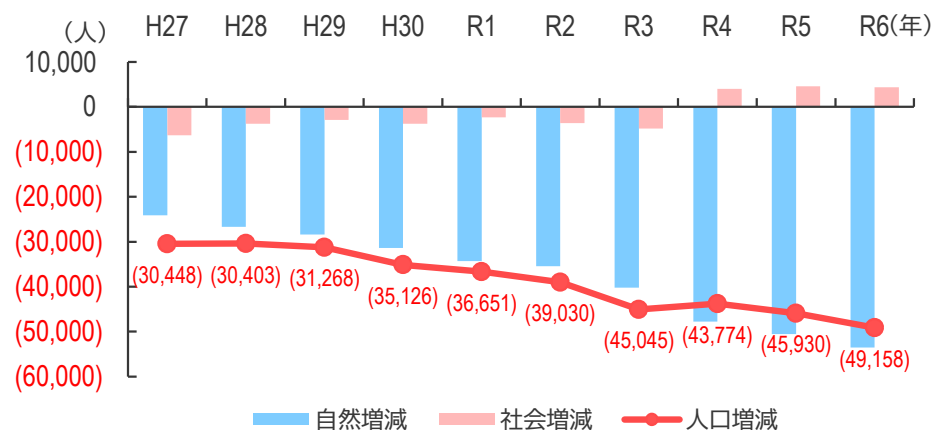
➤ 近年、自然減が拡大傾向にあり、人口減少が加速。



出典: 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」から北海道局作成

■人口増減数(自然増減・社会増減:日本人+外国人)

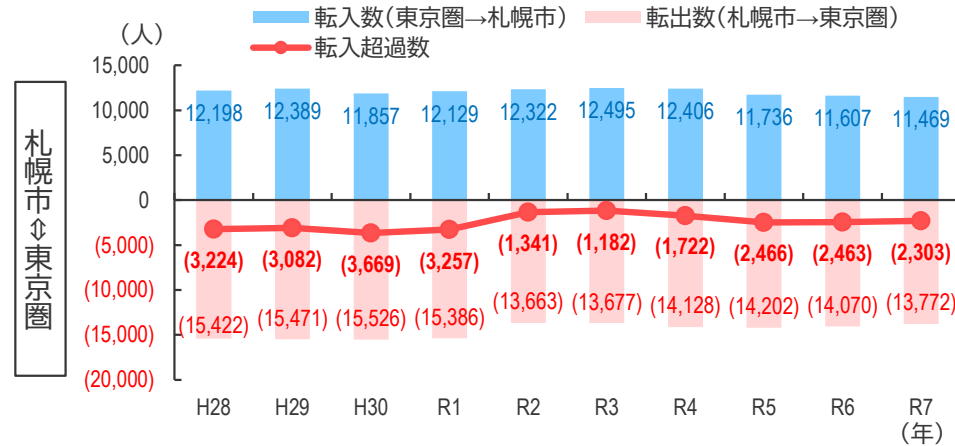
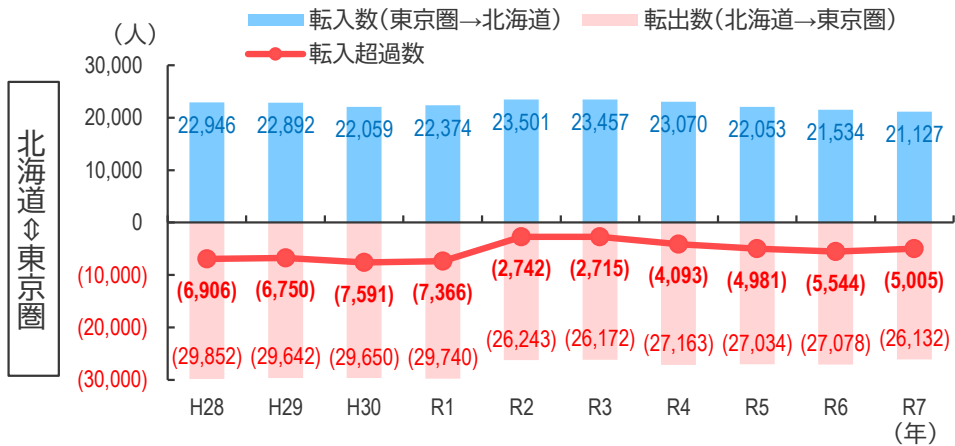
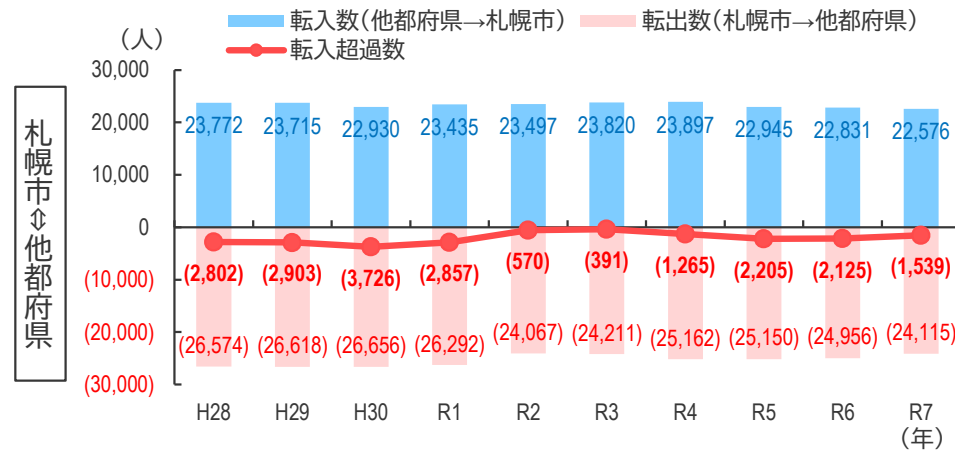
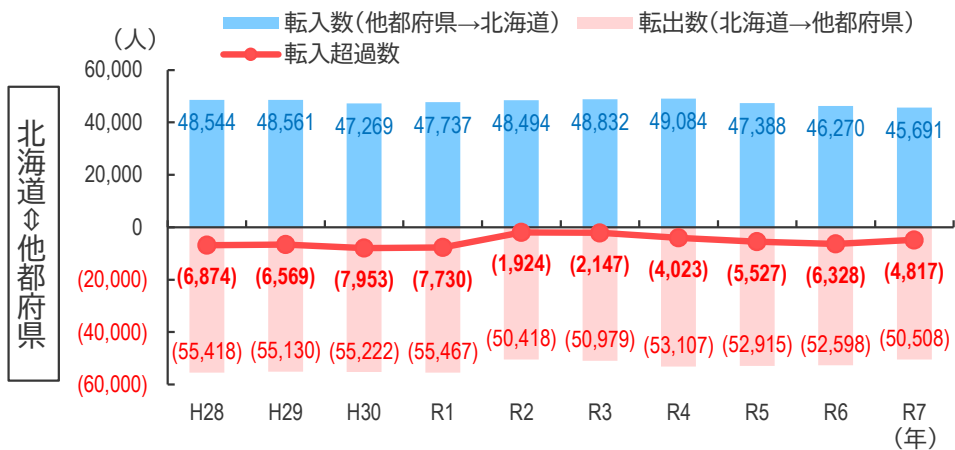
➤ 外国人の流入増が人口減少を若干緩和。



出典: 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」から北海道局作成

■転入数・転出数・転入超過数(日本人)

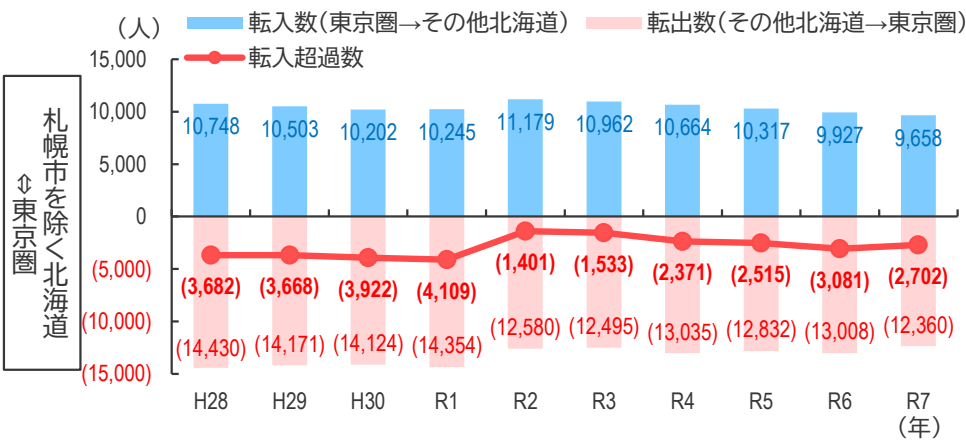
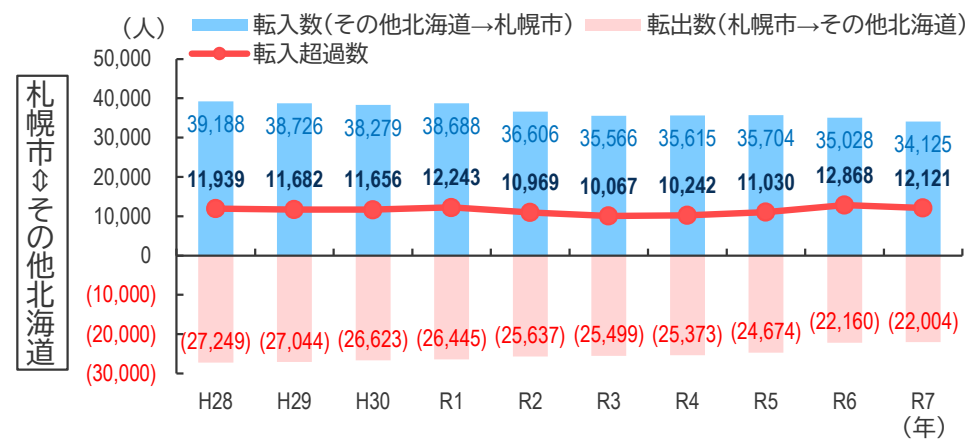
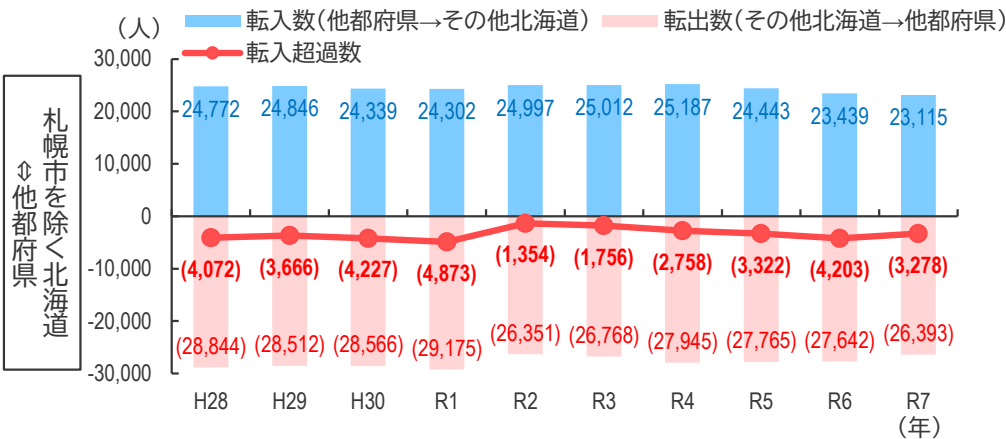
➤ 他都府県・東京圏との関係では、北海道、札幌市ともに転出超過が継続。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」から北海道局作成
 注：転出数は表示上マイナス側に配置。マイナスの転入超過数は転出超過を示す。

■転入数・転出数・転入超過数(日本人)

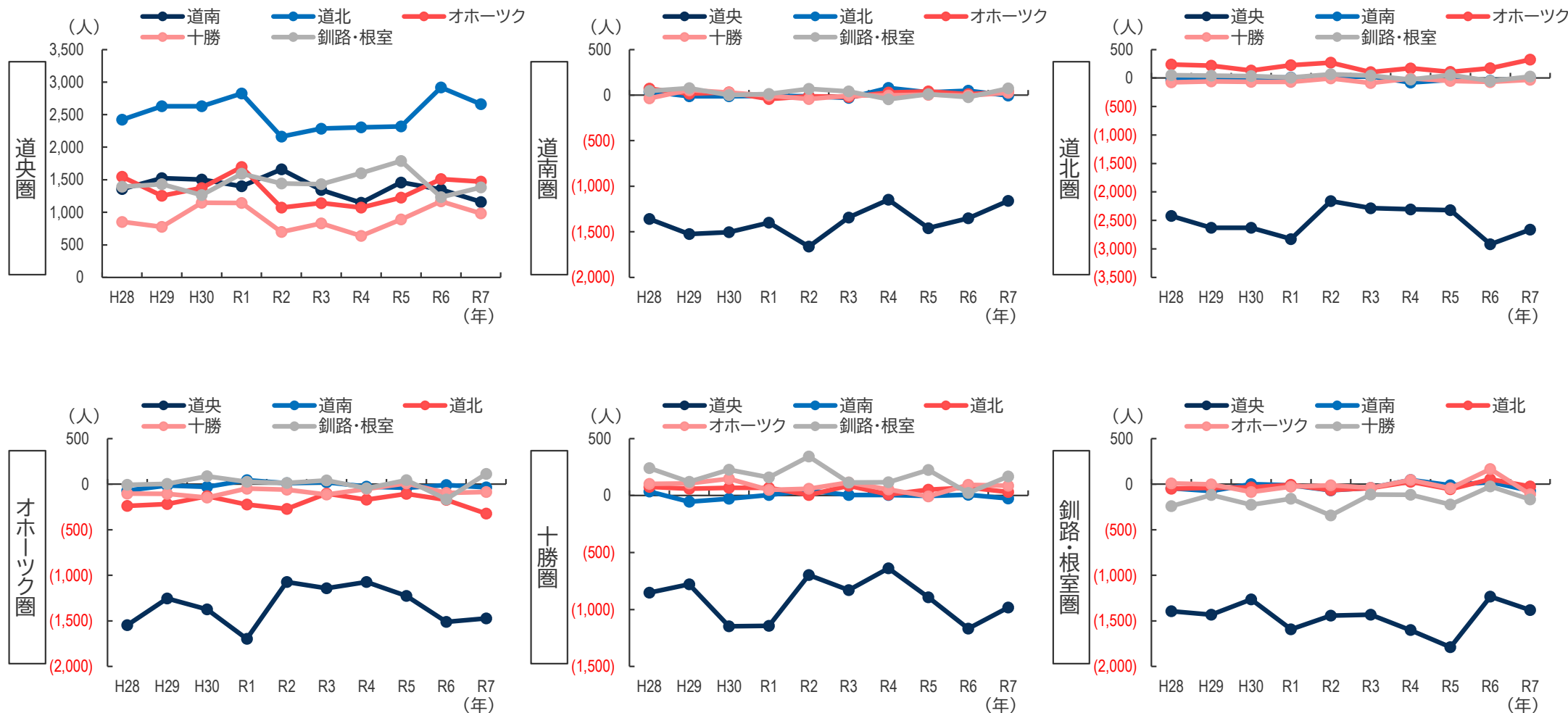
- 他都府県・東京圏との関係では、札幌市以外の北海道でも転出超過が継続。
- 札幌市では、道内他市町村からの転入超過が継続。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」から北海道局作成
 注：転出数は表示上マイナス側に配置。マイナスの転入超過数は転出超過を示す。

■転入超過数(6圏域間)

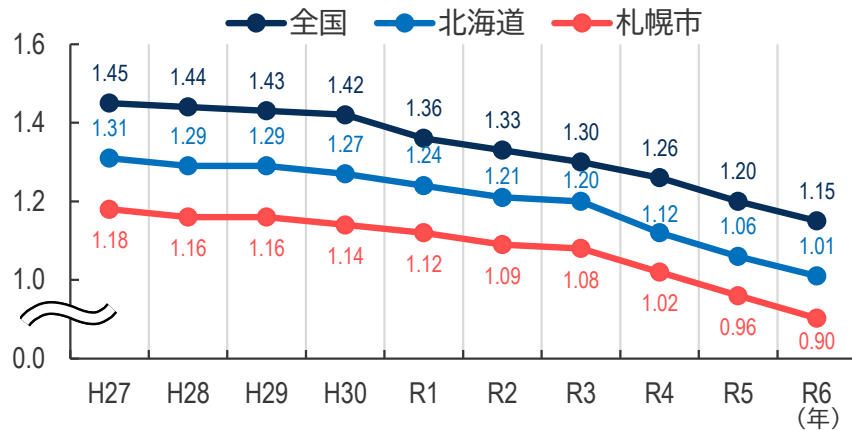
➤ 道央圏以外の5圏域から道央圏への転出超過が継続。



出典: 北海道総合政策部計画局統計課「北海道住民基本台帳人口移動報告」から北海道局作成

■合計特殊出生率(道内市町村)

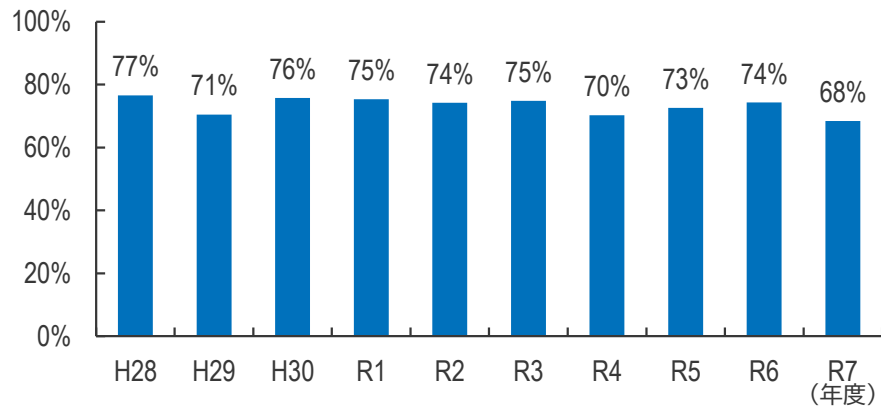
➢ 全国・北海道・札幌市ともに低下傾向。



出典：厚生労働省「人口動態統計」、札幌市「札幌市衛生年報」から北海道局作成

■「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合

➢ R7年度は7割を下回った。

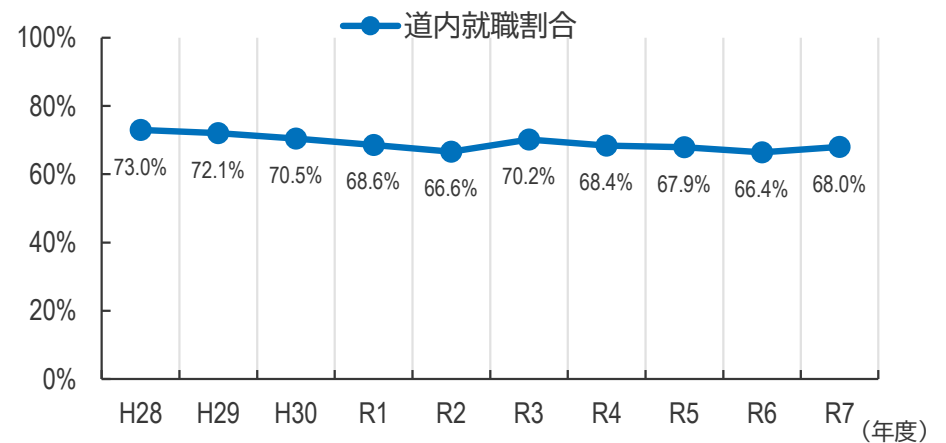
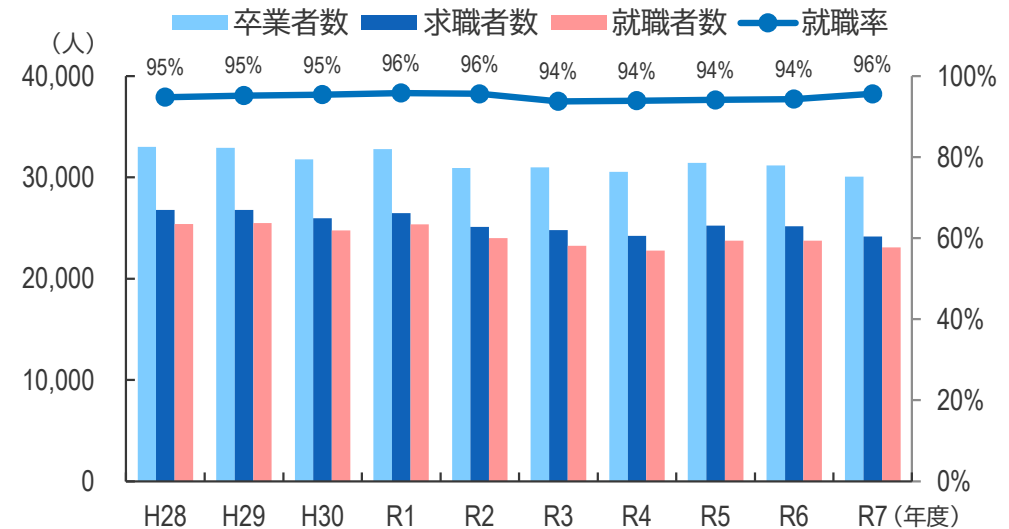


出典：北海道「道民意識調査」、「北海道の人口減少などに関する意識調査」から北海道局作成

■道内新規大学等卒業者の就職状況

(卒業者数、求職者数、就職者数、就職率、道内就職割合)

➢ 新規大学等卒業者の就職率は、近年95%前後で推移。一方、道内就職割合は増加。



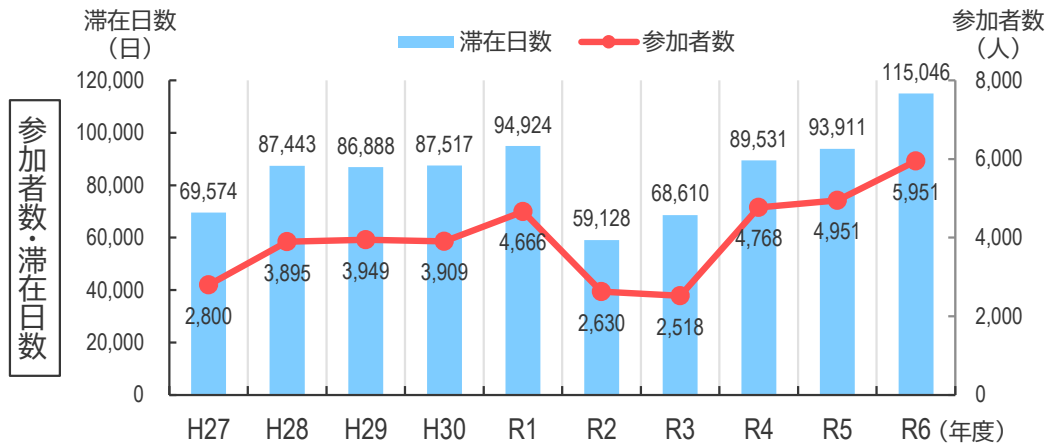
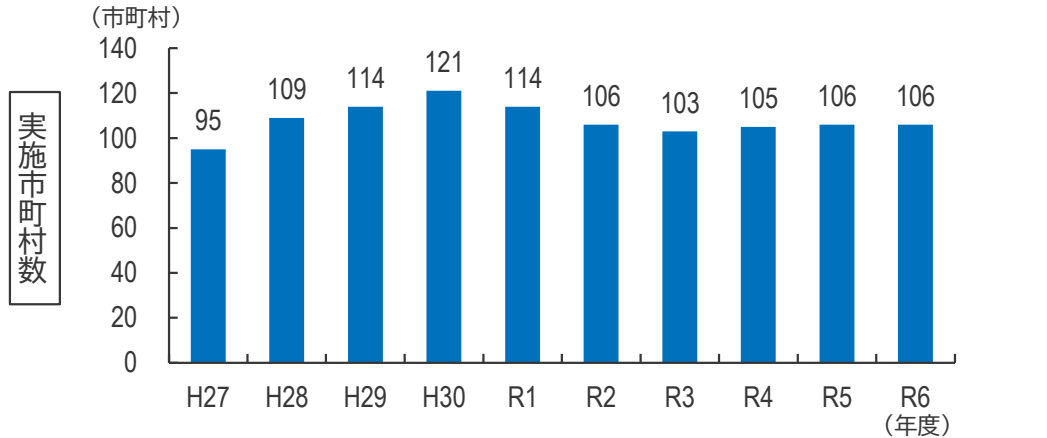
出典：北海道労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」から北海道局作成

第2節 1. デジタルの活用による生産空間の維持・発展⑥

2. 多様で豊かな地域社会の形成⑥

■北海道体験移住「ちょっと暮らし」実施市町村数、参加者数、滞在日数

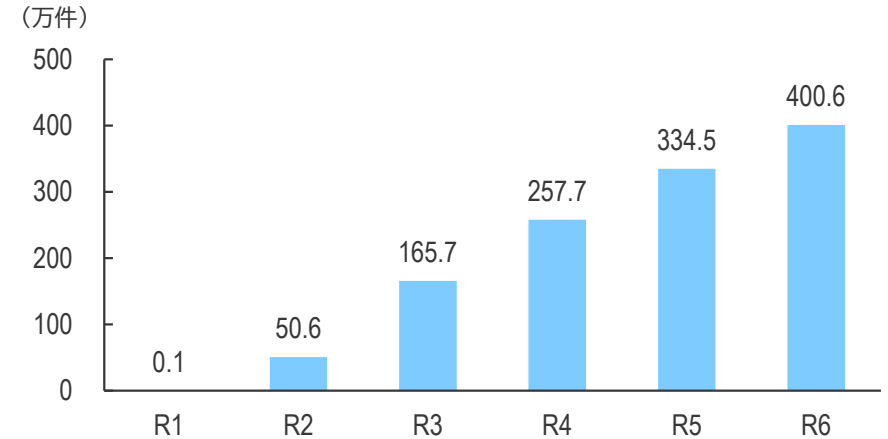
➤ コロナ禍を経て実施市町村数・参加者数・滞在日数ともに回復傾向。



出典：北海道「北海道体験移住『ちょっと暮らし』実績について」から北海道局作成

■5G契約数

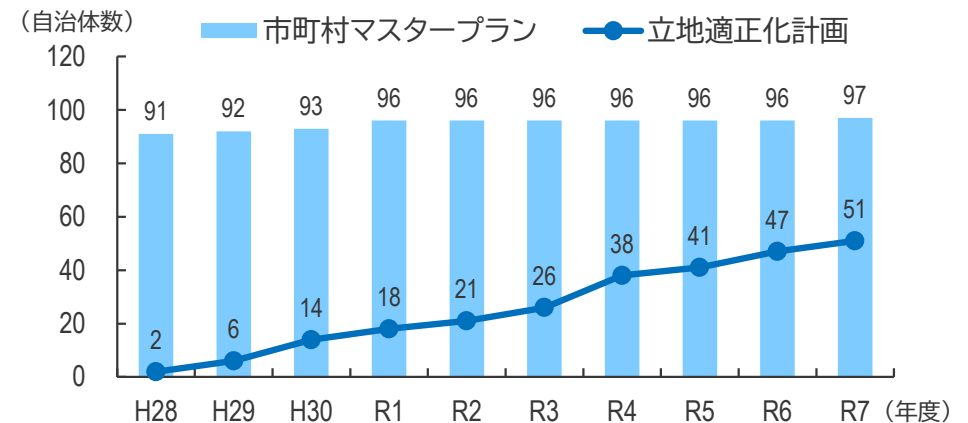
➤ 毎年着実に増加。



出典：総務省北海道総合通信局「ブロードバンドサービス契約の推移」から北海道局作成 (年度末)

■「立地適正化計画」策定自治体数

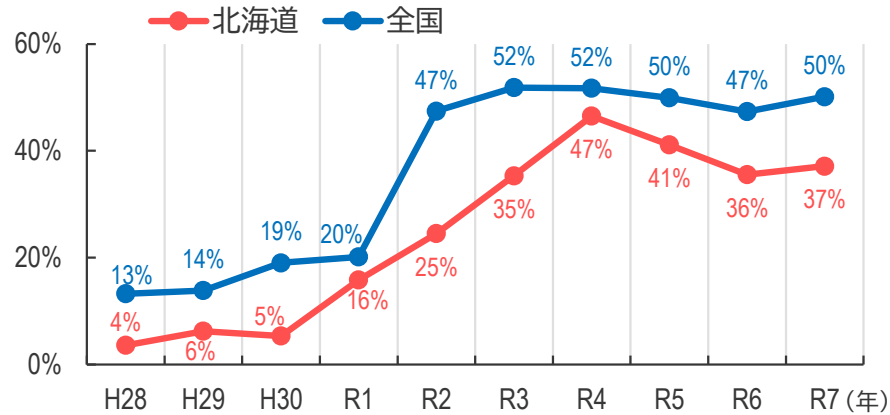
➤ 「立地適正化計画」を策定した自治体は増加傾向。



出典：北海道「市町村マスタープラン及び立地適正化計画の策定状況(R8年2月末現在)」から北海道局作成

■道内テレワーク導入企業割合

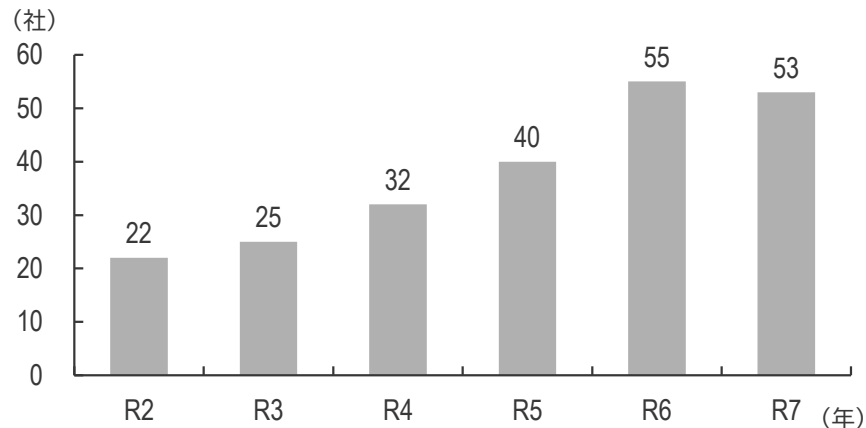
➤ 近年減少傾向。



出典：総務省「通信利用動向調査(企業編)」から北海道局作成

■J-Startup HOKKAIDO認定 スタートアップ企業の選定実績

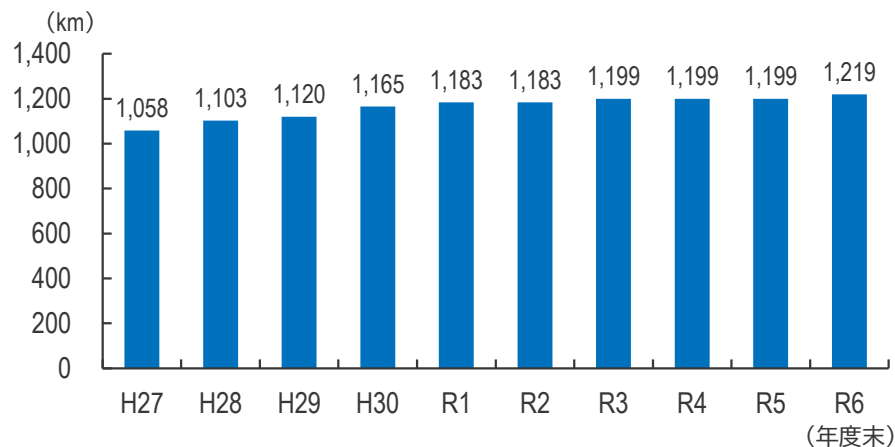
➤ R7年は2社減少。



出典：北海道経済産業局「スタートアップ・アトツギ・創業支援」から北海道局作成

■高規格道路開通延長

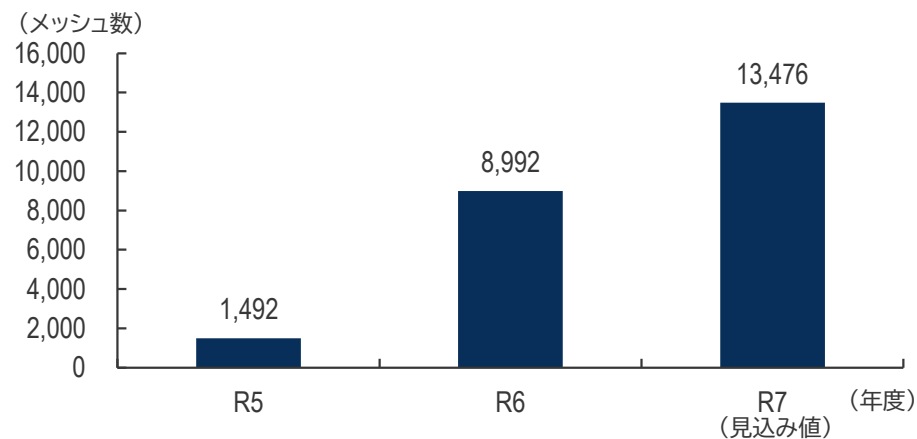
➤ 近年、整備が進捗している。



出典: 北海道開発局調べ

■札幌へのアクセス時間が短縮された道内の範囲(1km²メッシュの数)

➤ 近年、札幌へのアクセス時間が改善するエリアが増加。

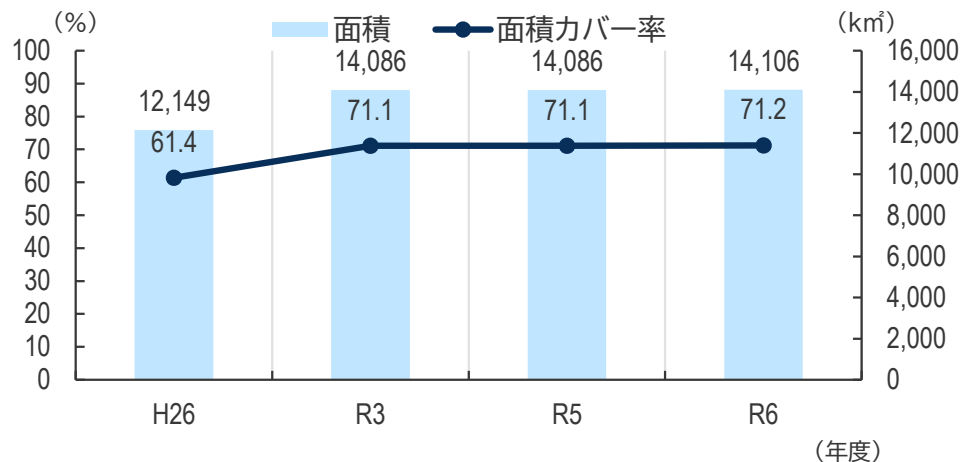


出典: 北海道開発局調べ

※基準年: R4年度 (R4年度を0として各年度のメッシュ数を算出)

■高規格道路整備によるICアクセス30分カバー率

➤ 10年前に比較してカバー率が向上。

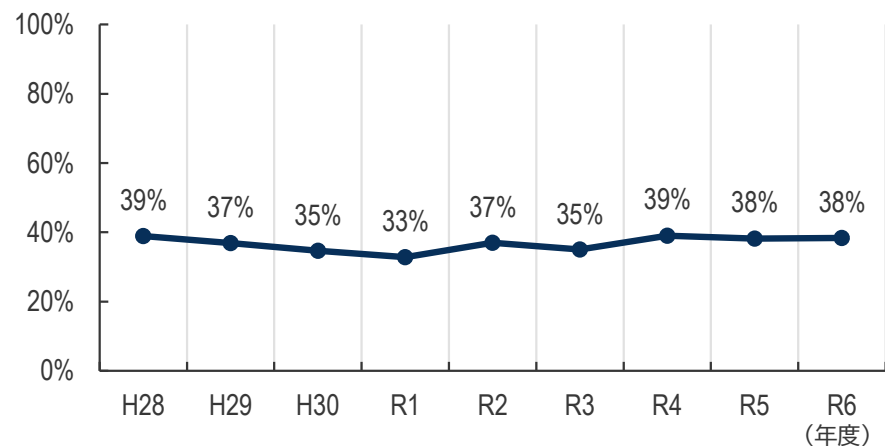


出典: 北海道開発局調べ

※居住地域(非居住地域を除く)の1km²メッシュ数から算出

■北海道における営業用トラックの積載効率の推移

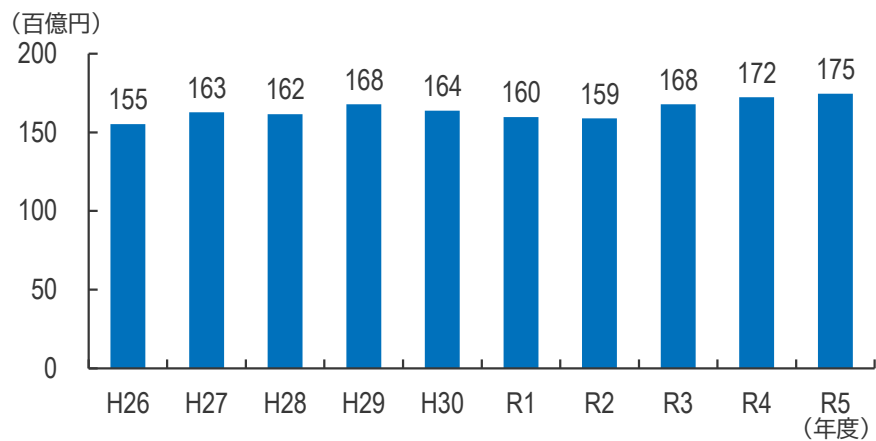
➤ 近年は38%で横ばい。



出典: 国土交通省「自動車輸送統計 年報」から北海道局作成

■北海道における総生産額(一次産業)

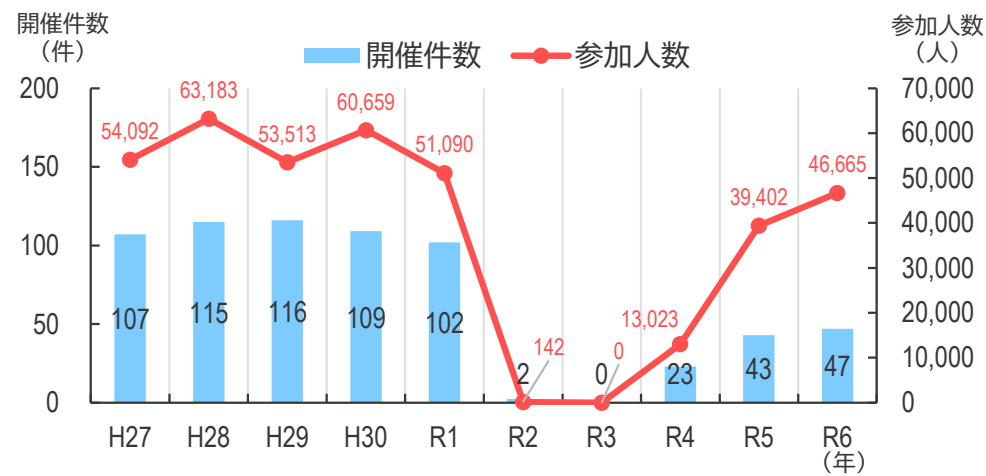
➤ 近年、1兆6000億円程度で推移。



出典: 北海道「令和5年度 道民経済計算」から北海道局作成

■札幌市における国際会議開催件数

➤ コロナ禍で激減した後、回復傾向。

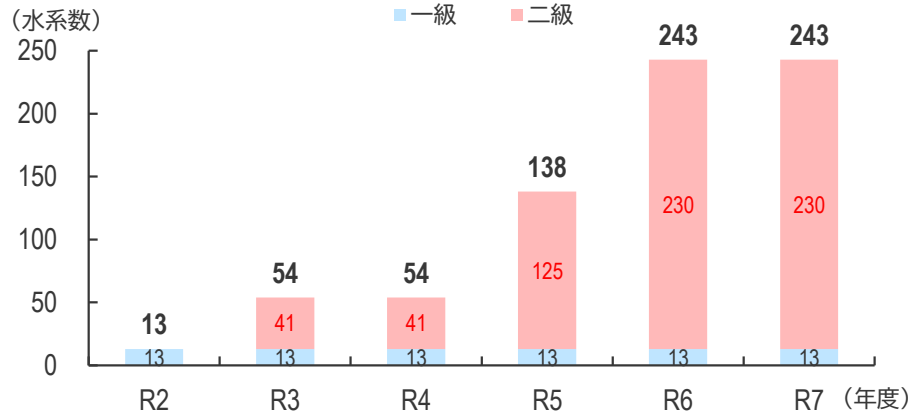


出典: 日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」から北海道局作成

第2節 4. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり①

■一級水系及び二級水系において、連携して流域治水プロジェクトを策定している水系数

➤ R2年度に一級水系で策定後、二級水系での策定が大幅に増加。

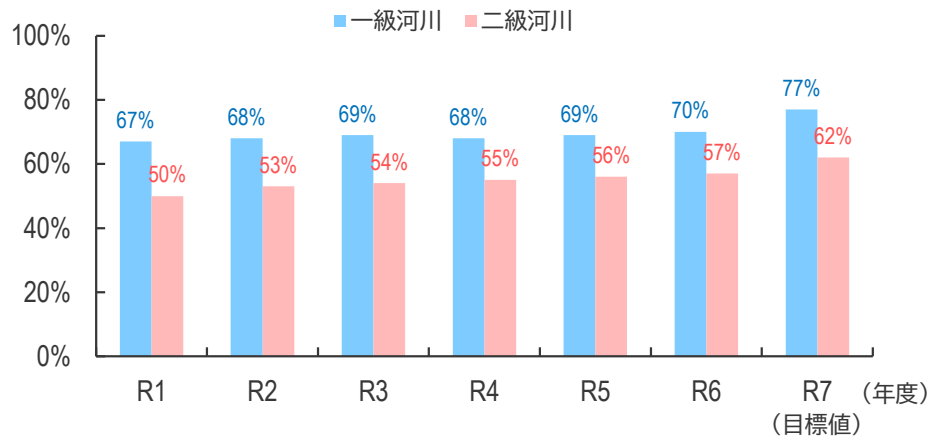


※R7年度末までの累計策定数

出典：北海道「流域治水プロジェクト」から
北海道局作成

■一級、二級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率

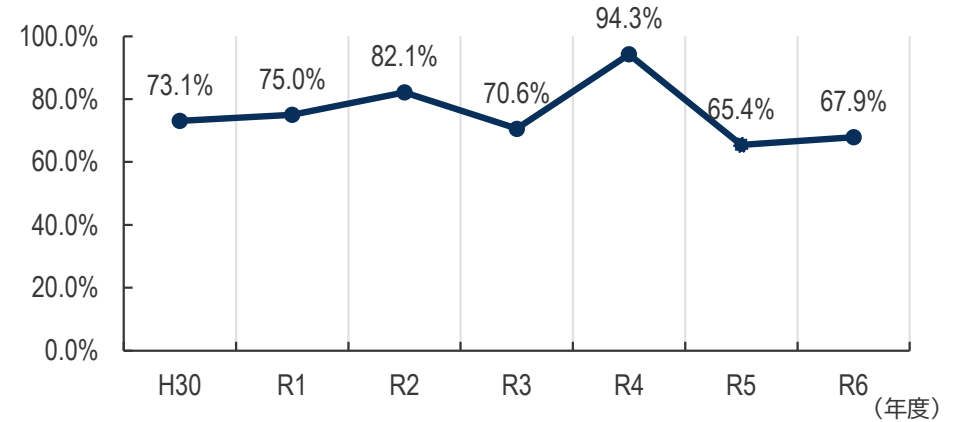
➤ 一級河川、二級河川ともに上昇傾向。



出典：国土交通省北海道局調べ

■最大クラスの津波に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上に繋がる訓練を実施した市町村の割合

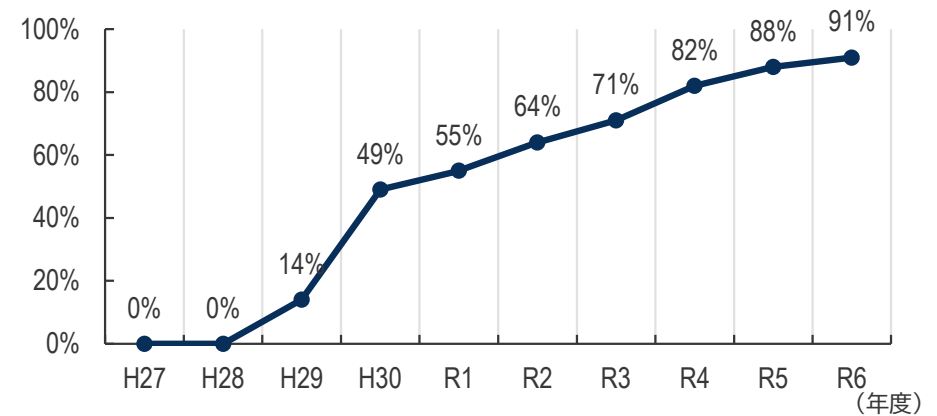
➤ 概ね70%前後で推移。



出典：国土交通省北海道局調べ

■最大クラスの洪水・内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識の向上に繋がる訓練を実施した市町村の割合

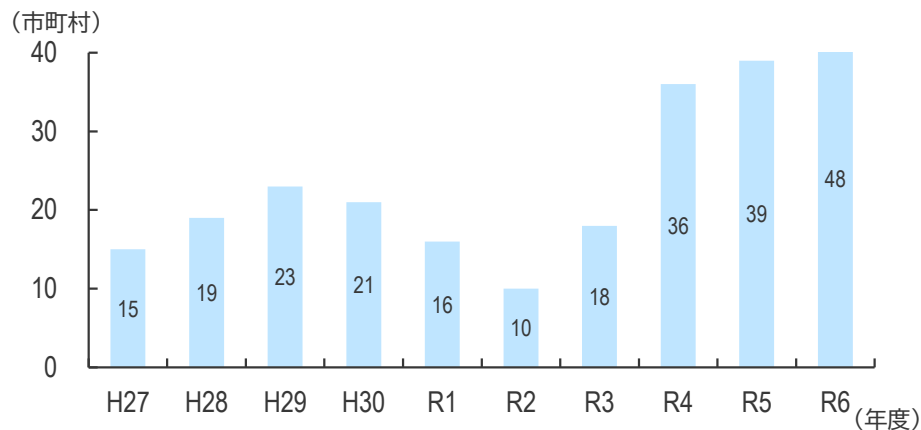
➤ 毎年増加傾向。



出典：国土交通省北海道局調べ

■ 冬期災害に備えた防災訓練の実施市町村数

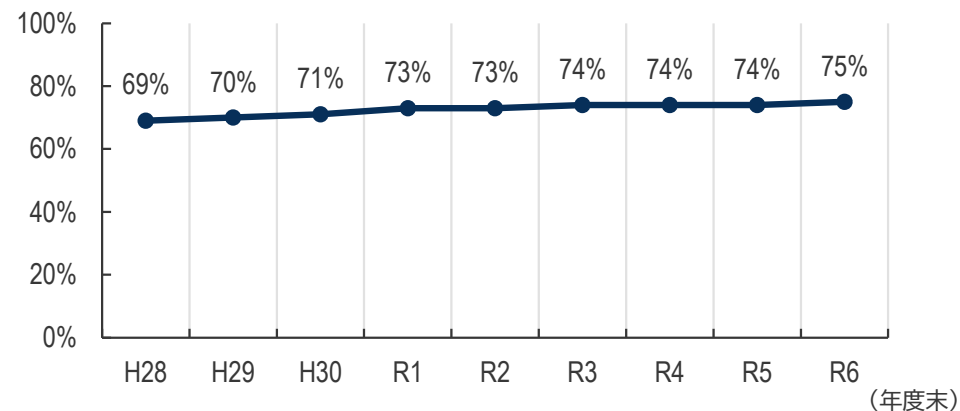
➤ 近年、実施市町村数が増加。



出典：国土交通省北海道局調べ

■ 緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強進捗率

➤ 概ね70%前後で上昇傾向。

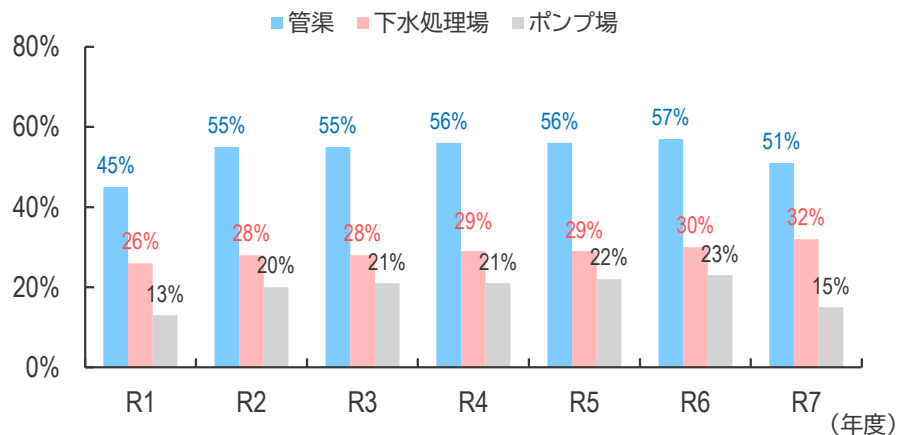


出典：国土交通省北海道局調べ

※緊急輸送道路上の15m以上の橋梁。

■ 災害時における主要な管渠、下水処理場及びポンプ場の機能確保率

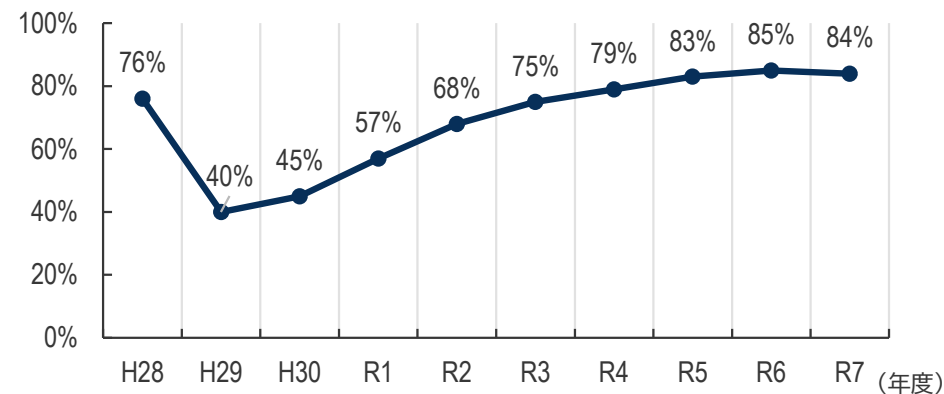
➤ R6年度まで上昇。R7年度は減少。



出典：国土交通省北海道局調べ

■ 直轄土木工事におけるICT活用工事の実施率

➤ 毎年増加傾向。



出典：北海道開発局「北海道開発局インフラDX・i-constructionアクションプラン」から北海道局作成

■リスク分散による企業立地件数

➤ コロナ禍以降若干増加傾向。



出典：北海道「北海道企業誘致推進会議総会資料」から北海道局作成